



深谷市の教育

令和2年度
教育要覧



深谷市教育委員会

[表紙の説明]

<渋沢栄一アンドロイド>

2024年に刷新される新1万円札の肖像に渋沢栄一翁が決定し、渋沢栄一翁への関心が高まっています。そこで、市では、渋沢栄一翁の功績や考えを広く多くのかたに知ってもらう新たな手段として、渋沢栄一アンドロイド（人間酷似型ロボット）を製作しました。

「アンドロイド」とは、外観も含めて人間と見分けがつかないほど精巧に作られた人間と非常に似た姿のロボットのことです。また、アンドロイドは実在の人物とそっくりに作られます。渋沢栄一アンドロイドは、実在した渋沢栄一をモデルとしており、栄一翁がまるで現代に甦ったかのようなようです。

渋沢栄一アンドロイドは、渋沢栄一記念館に設置され、栄一翁が70歳頃にさまざまな場所で講演していた様子をイメージし、新1万円札の肖像にも近い、洋装で立った姿となっています。また、渋沢栄一記念館の一室を改装し、栄一翁が大事にしていた「論語と算盤」の考え方や「忠恕」の精神などについて講義を受けているような空間を作り出しています。

<岡部生涯学習センター・岡部公民館、岡部図書館>

岡部地区に令和元年10月21日にオープンした複合施設は、従来の岡部公民館、岡部図書館の機能に加え、総合支所の機能を併せ持つ施設となっています。敷地面積は12831.19平方メートル、延床面積は3126.23平方メートルとなっており、広々とゆとりのある施設になっています。

建物内には、岡部生涯学習センター、岡部公民館、岡部図書館、岡部総合支所の機能のすべてが交流空間であるエントランスホールを囲むように配置されています。公民館内には、映像プロジェクターや音響設備を利用した研修や講演会等に使用できる大会議室、ダンス、音楽活動等に使用できる多目的室、スポーツ、イベント等に利用できる体育室、深谷市章とふっかちゃんの色をイメージした内装が特徴的な児童室等を配置しています。

外観は、豊かな田園風景が広がる景観に馴染むように大きな屋根とし、外壁の一部にレンガ調タイルを取り入れています。敷地内には、四季折々に花が咲き、実をつける様々な種類の樹木を植えています。

当施設は、学習・文化・レクリエーションとともに憩い・健康づくりの場として地域に密着しながら住民の方々を支える役割を担っていきます。

目 次

深谷市の概況	1	4. 進路.....	32
深谷市教育委員会教育長及び委員	2	5. 深谷市立教育研究所	33
I 教 育 行 財 政	3～22	6. 小学校・中学校紹介	36
1. 深谷市が目指す教育の姿	3	7. 幼稚園教育	46
令和2年度深谷市教育委員会重点施策	8	III 社 会 教 育	51～69
2. 組織及び事務分掌	19	1. 深谷市の社会教育の概要	51
3. 事務局及び教育機関職員数	20	2. 重点施策	51
4. 令和2年度一般会計予算、教育費（歳出）	20	3. 渋沢栄一記念館・公民館・文化会館紹介	53
5. 令和2年度教育費内訳、財源内訳（当初予算）	20	4. 令和2年度推進事業一覧	61
6. 教育費（当初予算）	21	5. 重要文化財など	64
7. 児童生徒1人当たりの教育費（当初予算）	21	6. 深谷市内所在文化財など件数一覧	69
8. 就学援助状況（令和元年度実績）	21	IV 図 書 館	70～74
9. 学校給食の状況	22	1. 施設の概要	70
II 学 校 教 育	23～50	2. 図書館運営の基本方針	71
1. 重点施策	23	3. 業務の概要	71
2. 児童・生徒・教職員数の推移	28	4. 分類別蔵書数	74
深谷市学校教育グランドデザイン	29	5. 令和元年度利用状況	74
3. 学校保健	31	V 社 会 体 育	75～81
		1. 社会体育計画の概要	75
		2. 重点施策	75
		3. 令和2年度社会体育関係事業	76
		4. 社会体育施設の概要	77



深谷市の概況



(1) 位置と地勢

平成18年1月1日、深谷市、岡部町、川本町、花園町がひとつになり誕生した新「深谷市」は、埼玉県北西部に位置し東京都心から70km 圏にあり、東は熊谷市に、南は嵐山町、寄居町に、西は美里町、本庄市に、北は群馬県の伊勢崎市、太田市に接しています。

また、北部は利根川水系の低地で、南部は秩父山地から流れ出た荒川が扇状台地を形成する平坦な地形となっています。

交通の面では、関越自動車道、国道17号・同深谷バイパス・上武国道、国道140号・同バイパス、国道254号などがあり、広域間の基幹的役割を果たす道路として機能しています。また、地域の玄関口として関越自動車道花園インターチェンジが設置されているほか、嵐山小川、本庄児玉のインターチェンジに近接しています。また、鉄道は JR 高崎線、秩父鉄道の2路線において駅を有するとともに、上越新幹線及び JR 八高線が通過し、上越新幹線本庄早稲田駅にも近接していることから、東京都心方面、上信越方面、秩父方面への交通の要衝となっています。



(2) 人口と面積

令和2年4月1日現在

人 口 (男・女) (人)	世帯数(世帯)	面積(km ²)	人口密度 (人/km ²)
143,097 (男 71,591 女 71,506)	60,407	138.41	1,034

深谷市教育委員会教育長及び委員

深谷市教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律（平成26年法律第76号）に基づく新教育長に小柳光春氏が任命され、平成27年4月1日より新教育委員会制度へ移行しました。



教育長 小柳光春



教育長 吉井恵美子
職務代理者



委員 黒屋信隆



委員 鵜養美季



委員 丸山和崇

令和2年4月1日現在

職名	氏名	任期
教育長	こやなぎ みつはる 小柳光春	平成30年4月1日～令和3年3月31日
教育長 職務代理者	よし い えみこ 吉井恵美子	平成29年4月1日～令和3年3月31日
委員	くろ や のぶ たか 黒屋信隆	平成30年4月1日～令和4年3月31日
委員	う がい み まき 鵜養美季	平成31年4月1日～令和5年3月31日
委員	まる やま かず たか 丸山和崇	令和2年4月1日～令和6年3月31日

I 教育行財政

1. 深谷市が目指す教育の姿（第2期深谷市教育振興基本計画より）

（1）基本理念

立志と忠恕の深谷教育

～ふるさとを愛し、夢をもち志高く生きる～

本市の教育の基本理念は、郷土の偉人・渋沢栄一の生涯を貫いた精神を基にした、
「りっし ちゅうじょ立志と忠恕の深谷教育」です。

教育基本法では第1条において、教育の目的として、「人格の完成」と、「平和な国家及び社会の形成者として、心身ともに健康な国民の育成」が規定されています。

渋沢栄一は、志を立てることは人生の大切な出発点であると考えていました。この志を実現するためには、生涯を通じて知・徳・体の調和のとれた学びを続け、「生きる力」を身に付けることが重要であり、そのことが「人格の完成」に近づくものであると考えます。

また、「平和な国家及び社会の形成者」であるためには、他者に対して真心と思いやりをもって接することが大切です。これは渋沢栄一が処世の方針とした忠恕の考えと一致するものです。忠恕の心を育むためには、多様な個性を持つ人々と支え合い、同じ目標に向かって協働し、文化芸術に触れ、豊かな情操を養う必要があると考えます。

このように、教育の目的を達成するため、渋沢栄一が生涯を通じて大切にした立志と忠恕を本市の教育の基本理念として掲げていきます。第1期深谷市教育振興基本計画に引き続き、この基本理念を出発点として、基本方針・基本目標、そして具体的な各施策を展開していきます。

（２）基本方針

基本理念を踏まえ、教育基本法の教育の目的達成に向けた施策を次の６つの基本方針に基づいて実施します。

確かな学力

生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的・基本的な知識・技能を習得させ、それらを生かして課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力などを育成し、学習に主体的に取り組む態度を養います。

こうして培った学力を土台に、生涯にわたり学び続ける知的好奇心旺盛な人を育みます。

豊かな心

健全な心を育むため、豊かな情操や規範意識、自他の生命の尊重、自己肯定感、思いやり、対面でのコミュニケーションを通じて人間関係を築く力や公共精神の育成などが必要です。

また、家庭や地域コミュニティでの活動を通じて、基本的な倫理観や地域の構成員としての社会性、自主性、創造性などの豊かな人間性を養います。

健やかな体

健康な体は、確かな学力を身に付け、豊かな心を育むうえでも重要な土台となってきます。子供たちが、自らの健康や体力に関心を持ち、進んで健康維持や体力向上の意識を持つように努めます。

また、地域のスポーツイベントやレクリエーション活動に参加し、生涯を通じて、老若男女が活力を持てる取組を進めます。

夢・志

情報化社会が進展する中、コンピュータや機械で置き換えることのできない夢を描くこと、志を立てることが人間にとってより一層重要になります。

子供から大人まで、市民一人一人が夢と志に挑戦し、その実現に向かって研鑽する、活力ある社会を目指します。

伝統の継承

本市には、地域に根ざした伝統や、明治以降の近代化を象徴する建築物などが多数残っています。こうした郷土の伝統・文化を学ぶとともに、これらを継承し、新たな文化の創造を目指します。

また、郷土を愛し、郷土に誇りを持つとともに、他国や他文化を尊重する態度や、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養います。

支え合い

学校と地域の連携・協働を推進し、地域全体で子供を育てる体制の構築を目指します。また、市民と行政など多様な主体が地域行事などで協働していくことで、地方創生の核となる地域コミュニティの充実を図ります。

さらに、一人一人が多様な個性や能力を発揮し、新たな価値を創造したり、互いの強みを生かして支え合う、多様性に富んだ社会を目指します。

(3) 基本目標

第2期深谷市教育振興基本計画の基本理念及び基本方針を踏まえ、第2期教育振興基本計画の計画期間である平成30年度～令和4年度の5年間に取り組む教育施策の7つの基本目標を掲げ、教育行政を総合的に推進しています。

I 確かな学力と自立する力の育成

子供たちの社会的自立に向けて、基礎・基本の徹底を図り、思考力・判断力・表現力などを含めた確かな学力を身につけさせます。

また、ふるさと深谷の伝統と文化を尊重し、グローバル化を見据えた教育や時代の変化に対応する教育を推進します。

さらに、キャリア教育や幼児教育、特別支援教育を推進し、子供たちが社会的に自立して生きていくための基礎となる力を育みます。

Ⅱ 豊かな心と健やかな体の育成

子供たちの豊かな心を育むため、体験活動を充実させるとともに、道徳教育、人権教育を推進します。また、いじめ、不登校、非行・問題行動の未然防止などの課題に取り組めます。さらに、健康の保持増進や体力の向上などにより健やかな体を育成します。

Ⅲ 地域に信頼される学校教育の推進

若手からベテランまで、全ての教職員の資質能力を向上させるとともに、学校運営協議会を効果的に活用し、学校組織運営の改善などを図ります。

また、子供たちの安全・安心の確保、学習環境の整備・充実などにより、質の高い学校教育を推進します。

Ⅳ 家庭・地域・学校の連携による教育力の向上

各家庭が生活のために必要な習慣を子供に身に付けさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう、家庭教育支援を充実していきます。

また、家庭・地域・学校がそれぞれの教育機能を十分に発揮し、相互に手を取り合い、一体となり子供を育てることで、教育力の更なる向上を目指します。

Ⅴ 生涯学習の推進

多様化する市民の学習ニーズに対応するため、講座・教室などの充実を図るとともに、学習情報の提供や指導者の育成・確保など、生涯学習を推進する体制を整えます。

また、市民が気軽に生涯学習活動に取り組めるように、公民館や図書館などの生涯学習施設の利用環境を整備し、機能の充実を図ります。

VI 郷土の歴史・文化の継承と活用

近代日本経済の父と呼ばれ、社会福祉、教育、国際親善などにも多大な功績を遺した郷土の偉人・渋沢栄一の顕彰のため、ゆかりの施設や展示内容の充実、市内外への情報発信を推進します。

また、郷土の文化や文化財を守り、次世代に伝えていくとともに、市民が心豊かな生活を送れるよう、文化・芸術活動の活性化を図り、文化の発展を目指します。

VII スポーツ・レクリエーションの推進

誰もが気軽に継続してスポーツ・レクリエーションに取り組めるように、市内の体育施設（体育館・グラウンド）の環境を整備します。

また、イベントなどに関する積極的な情報提供や指導者の育成・確保などの体制を整備するとともに、各団体やスポーツ推進委員を核にスポーツ・レクリエーション活動を推進します。

（４）令和２年度深谷市教育委員会重点施策

教育委員会重点施策は、深谷市教育振興基本計画の実効性をより高めるため、年度ごとの重点的な取り組みを明らかにしたもので、毎年、年度初めにその取組内容を公表しています。教育委員会では、関係機関、各種団体等と連携を図るとともに、広く市民の理解と協力を得ながら、積極的に取り組んでいます。

次ページ以降では、「令和２年度深谷市教育委員会重点施策」を第２期教育振興基本計画の施策体系とともに紹介します。

【重点施策の設定例】



重点施策の名称

重点施策の内容

教育振興基本計画の主な取組

質の高い幼児教育の推進

○幼稚園の新設に伴う設計と給食提供に向けた整備
新設幼稚園建設工事に伴う設計を行うとともに、幼稚園への給食提供のための搬入口等の整備に努めます。

Ⅰ 確かな学力と自立する力の育成

施策

主な取組

1 生きる力の基礎を育む幼児教育の推進

質の高い幼児教育の推進

○幼稚園における食育の推進

幼児教育の充実と保育サービスの向上を目的として、幼稚園（常盤幼稚園を除く）において、給食を実施し、食育を推進します。

○幼稚園施設整備事業

幡羅幼稚園、常盤幼稚園、明戸幼稚園の3園を再編した、新幼稚園の建設工事を実施します。

幼稚園教員や保育士の資質向上

○幼稚園教諭・保育士の交流研修

幼児教育の目指す方向性について共通理解し、幼保の連携を推進します。

幼児教育と小・中学校教育との連携の推進

○幼保小中連携の推進

幼保小中及び家庭や関係機関と連携して、子育ての目安「3つのめばえ」や深谷の子「6つの誓い」などの取組を推進します。

幼稚園を活用した子育て支援の充実

○就園前教育支援事業

未就園児の親子の体験活動や子育て相談等の支援を行い、子育て支援を充実します。

2 未来を切り拓くための確かな学力の育成

「青淵学びの郷づくり」の推進

○小・中学校NRT等支援事業【青淵学びの郷づくり】

小4でNRT、中1でNRTとNINOを実施し、発達段階に応じた児童生徒のつまずきを早期発見して、その解消を図ります。

○小・中学生補習学習の充実【青淵学びの郷づくり】

算数につまずきのある小学校4年生を対象に「ふっかちゃんタ焼け計算道場」、中学生を対象に基礎学力の定着を図るための「ステップアップレッスン」を実施し、地域人材を活用した放課後等の補習学習を充実させます。

○中学生検定サポート事業【青淵学びの郷づくり】

英検や数検の費用を補助することで、生徒の学習意欲を高め、学力向上を図ります。

3 郷土深谷を愛し国際性を育む教育の推進

教科などの指導内容・指導方法の工夫・改善

○授業力の向上【青淵学びの郷づくり】

授業の具体的な型を示した「深谷市授業スタンダード」、「深谷市スタイル」、「授業ベーシック」の徹底により、授業の質的向上を図ります。

学習状況の調査結果などの分析と活用の推進

○学力調査を活用したPDCAサイクルの確立

国、県、市の学習状況の調査結果と自校の結果を比較・分析し、課題の把握と指導改善に活用します。

きめ細やかで質の高い指導の充実

○専科加配の配置

小学校に専科加配を配置し、専科指導の充実を図るとともに、教科担任制を推進します。

教育研究所の資源活用

伝統と文化を尊重する教育の推進

○ふるさと教育の推進【青淵学びの郷づくり】

地域と協働し、伝統や文化について体験的に学ぶ機会や道徳教育を充実させたり、ふるさと ふかや・渋沢学を推進したりして、ふるさとを愛し、誇りに思う児童生徒を育成します。

○ジュニアボランティアガイドの育成【青淵学びの郷づくり】

渋沢栄一翁の顕彰活動を通して、子供たちに地域貢献意識を養い、ふるさとを愛し、次代を担う自覚を持ったジュニアボランティアガイドを育成します。

国際性を育む教育の推進

○国際化教育推進事業【青淵学びの郷づくり】

各小・中学校に外国語指導助手（ALT）を配置し、英語指導の充実を図り、国際性を育む教育を推進します。

小学校段階からの質の高い外国語教育の推進

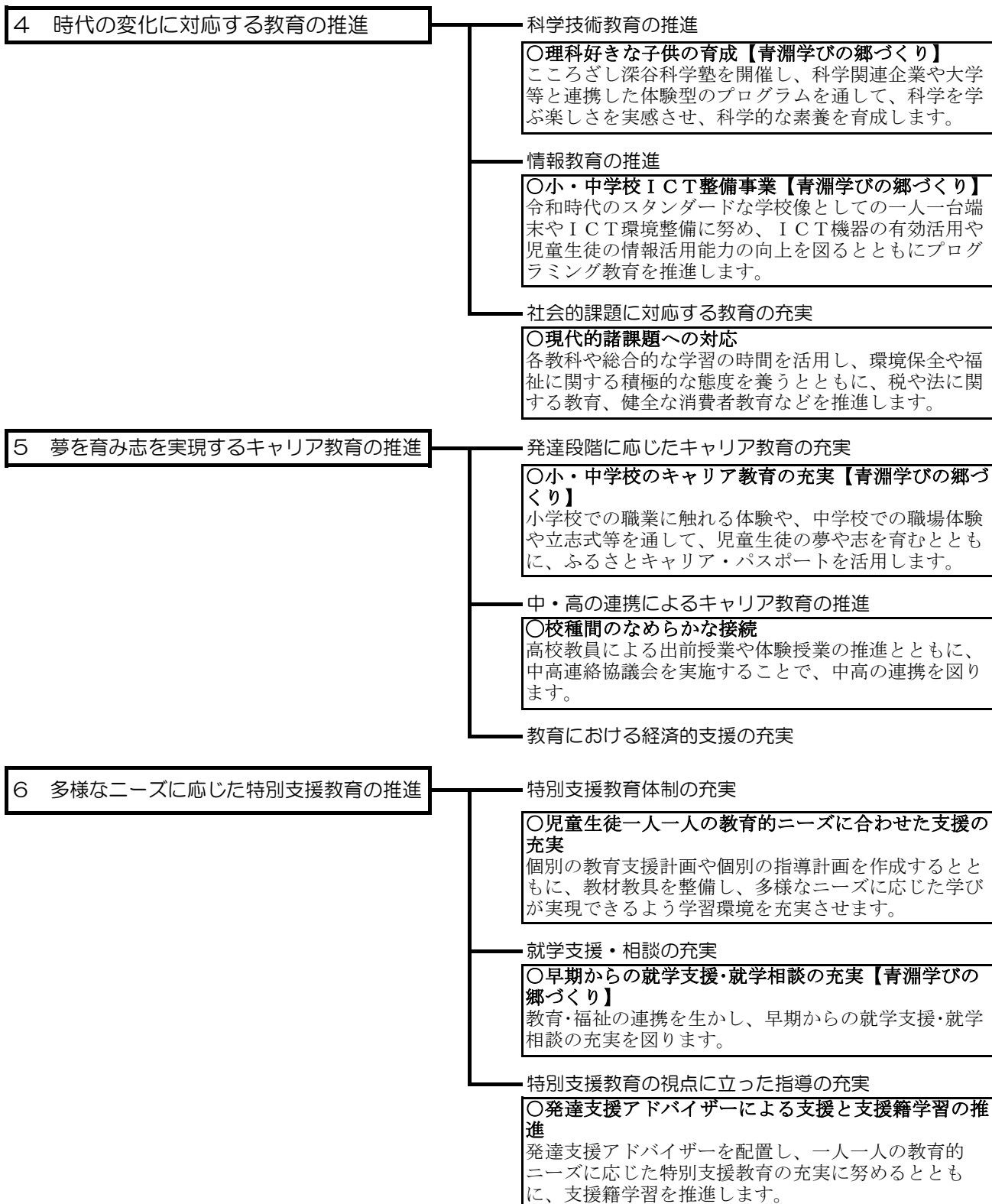
○外国語指導力向上事業【青淵学びの郷づくり】

小学校に英語専科教員や英語アシスタントティーチャー（EAT）を配置し、学習意欲向上や質の高い授業づくりを推進します。

帰国・外国人児童生徒などへの教育の充実

○日本語指導職員配置事業

帰国・外国人児童生徒の学校生活への適応支援のため、就学相談を行うとともに、日本語指導員による指導の充実を図ります。



※【青淵学びの郷づくり】は、渋沢栄一翁の心を受け継ぐ事業の総称です。

II 豊かな心と健やかな体の育成

施策

主な取組

1 まごころと思いやりを育む教育の推進

道徳教育の充実

○**渋沢栄一翁こころざし読本～深谷の心を紡ぐ～の活用【青淵学びの郷づくり】**
 渋沢栄一翁の生き方から学ぶ読本を活用するとともに、次代の人材を育成するために、「ふるさと先生」を派遣し、道徳教育の充実に努め、ふるさとを愛し、誇りに思う児童生徒を育成します。

深谷の子「6つの誓い」の推進

○**深谷の子「6つの誓い」の推進【青淵学びの郷づくり】**
 渋沢栄一翁が生涯を通じて大切にしていた立志の精神と忠恕の心を受け継ぐ深谷の子「6つの誓い」を通して、子供の心を育みます。

読書活動の推進

《市民協働》
 ○**子供読書活動の推進【青淵学びの郷づくり】**
 「深谷市子供読書活動推進計画」に基づく「ふかやふれあい必読書50」を推進し、学校における図書館教育の充実や「子供の暗唱を楽しむ会」の開催など、子供たちが読書活動に親しめるように努めます。

2 いじめ・不登校の防止

いじめ対策の推進

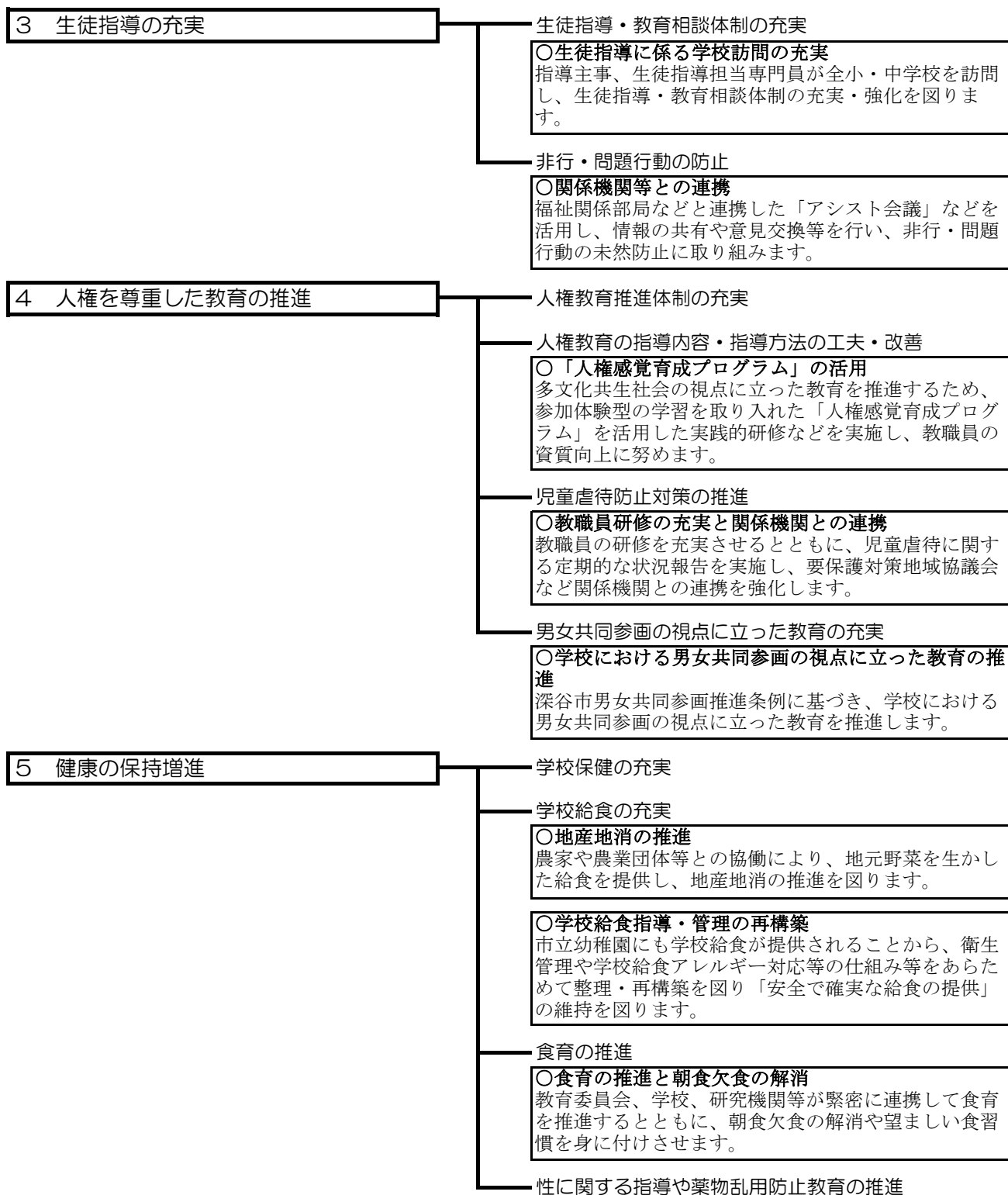
○**いじめ防止基本方針に基づく関係会議の充実**
 いじめ問題対策連絡協議会やいじめ問題専門委員会等、いじめ防止に関係する機関及び団体との連携を図り、いじめ問題に関する施策を推進します。

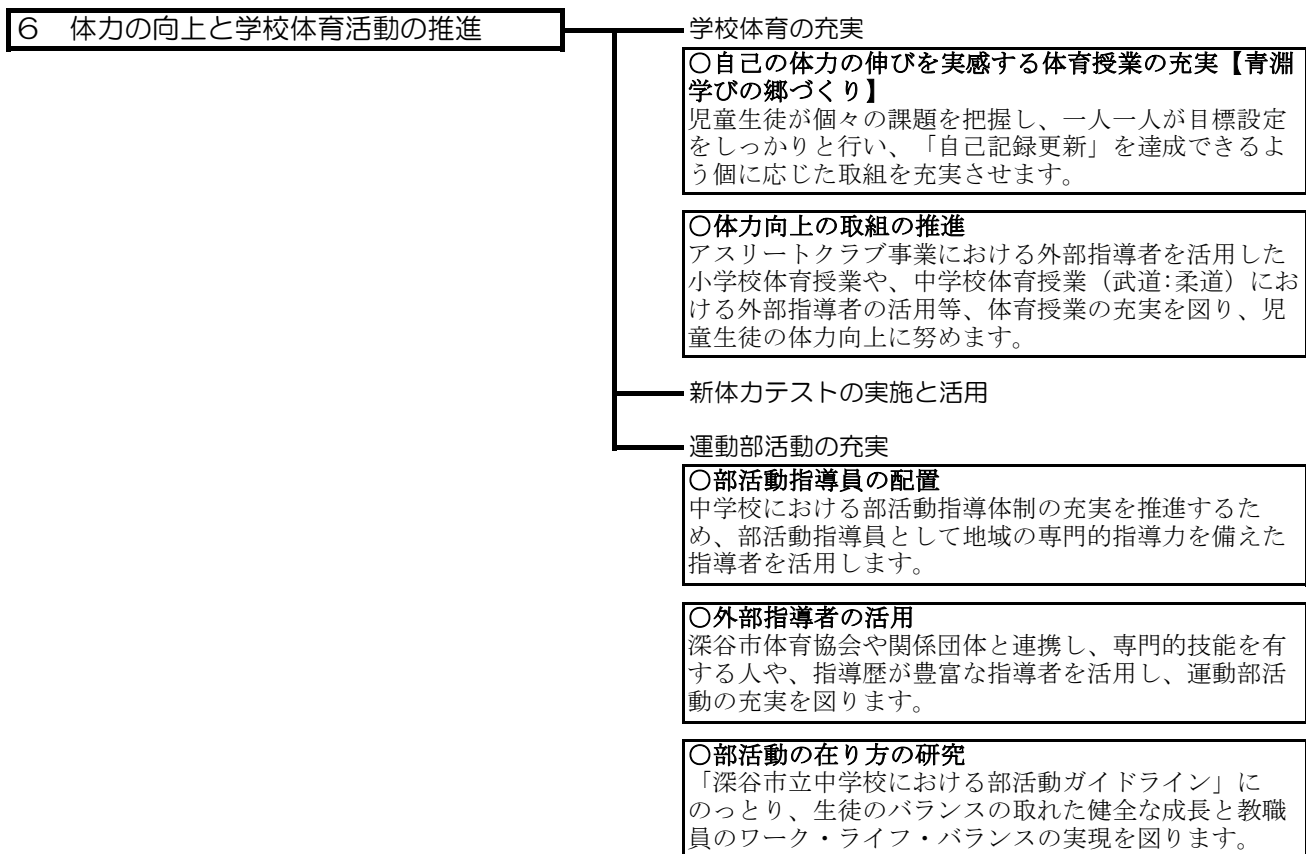
不登校対策の推進

○**総合的な不登校対策の推進**
 各中学校区の連携を推進するとともに、学校総合支援員、スクールカウンセラーなどを配置し、不登校の未然防止、早期対応を図ります。また、適応指導教室（いきいき教室・いきいきナイトスクール）を充実させるなど、不登校児童生徒への多様な対策を推進します。

小・中・高におけるなめらかな接続の推進

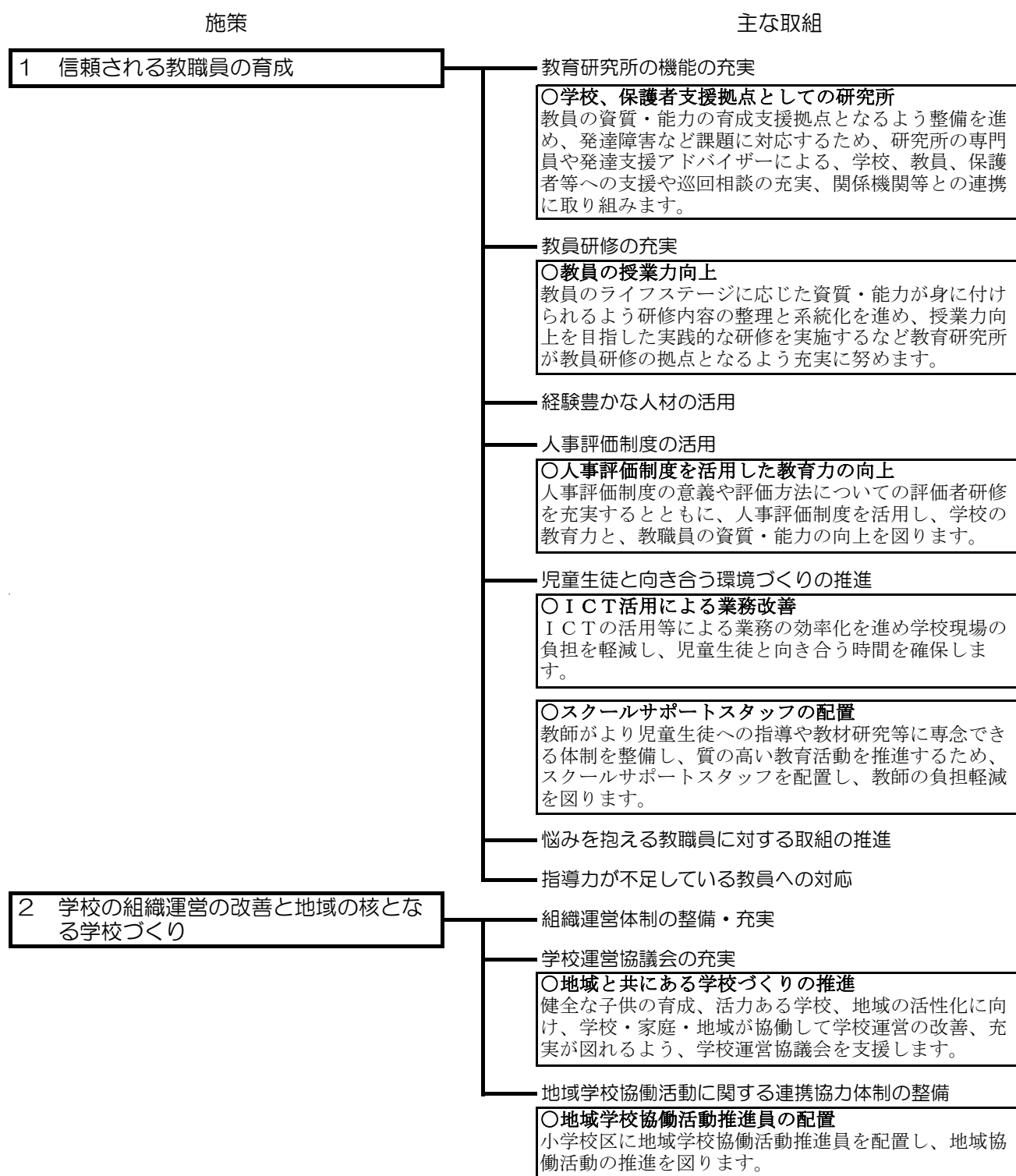
○**校種間のなめらかな接続**
 全中学校区で小中一貫教育を推進し、中1ギャップの解消を図るとともに、中高連絡協議会を実施し、出身校に係る高校生の中途退学の情報を交換するなど中高の連携を図ります。

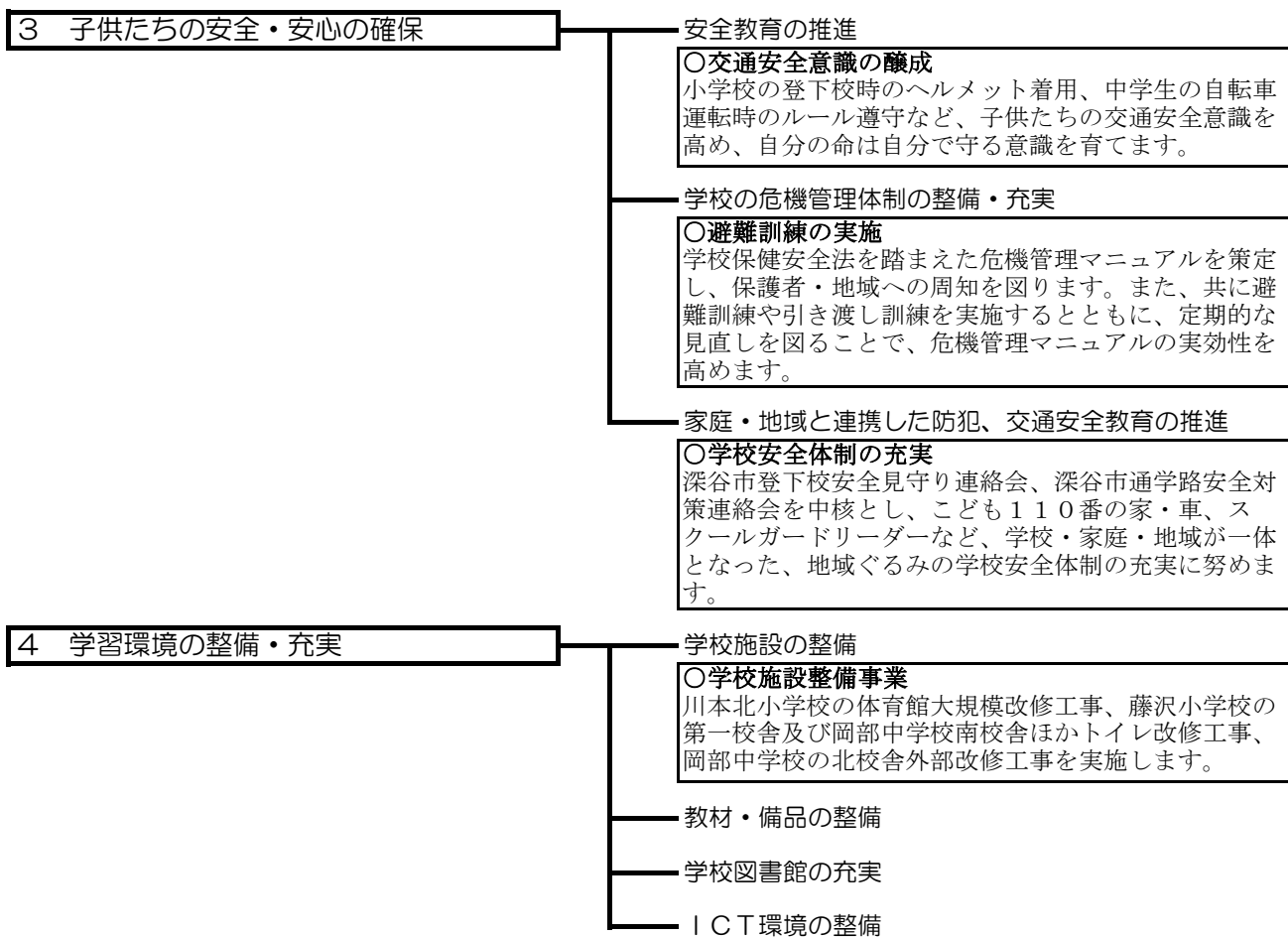




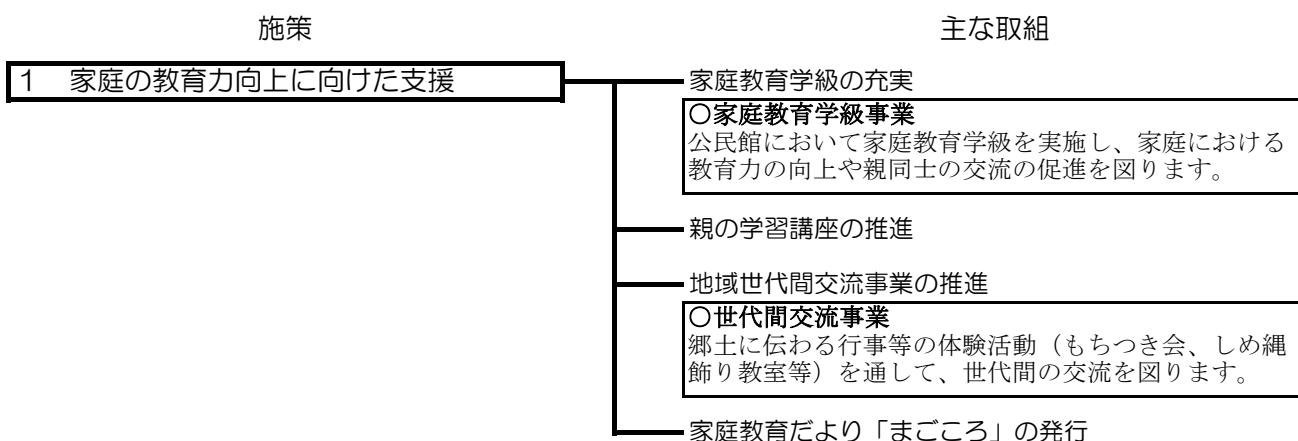
※《市民協働》とあるのは、市民等と行政が、相互の立場や特性を認識・尊重しながら、共通の目的を達成するために協力して活動していく施策です。

III 地域に信頼される学校教育の推進





IV 家庭・地域・学校の連携による教育力の向上



2 家庭・地域・学校が協力する教育体制の整備

放課後子ども教室の推進

○放課後子ども教室推進事業

「がんばル〜ム」のほか、平日の放課後子ども教室の拡充に努めます。

学校応援団などの推進

学校教育・社会教育の連携

○地域学校協働活動推進員の配置（再掲）

小学校区に地域学校協働活動推進員を配置し、地域協働活動の推進を図ります。

ボランティア活動の促進

青少年健全育成活動の推進

V 生涯学習の推進

施策

主な取組

1 市民のニーズに応える生涯学習の支援

生涯学習推進体制の整備・充実

指導者の育成・確保

学習情報の収集と提供

講座・教室の充実

市民大学の推進

○市民大学運営事業

市民の学習意欲に応えるため市民大学を開催し、生涯学習の機会を提供します。

子ども体験学習の推進

○子ども大学推進事業

地元の大学等と連携し、学校や家庭では体験できない学習事業を実施します。

2 生涯学習施設の整備・充実

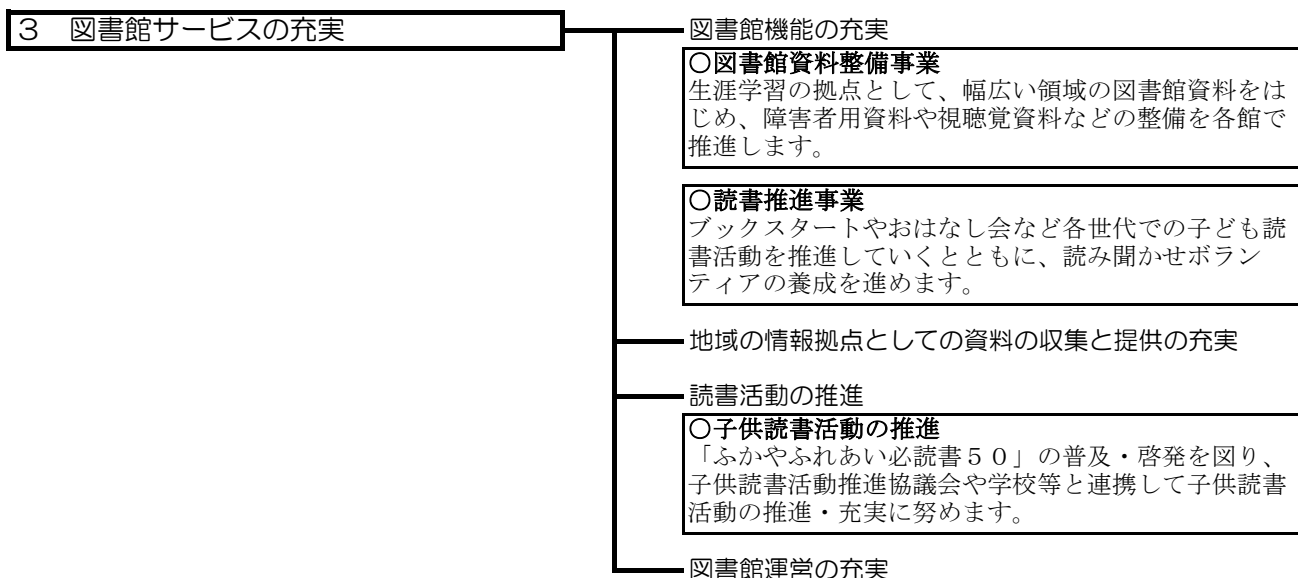
公民館の整備・充実

○公民館施設整備維持事業

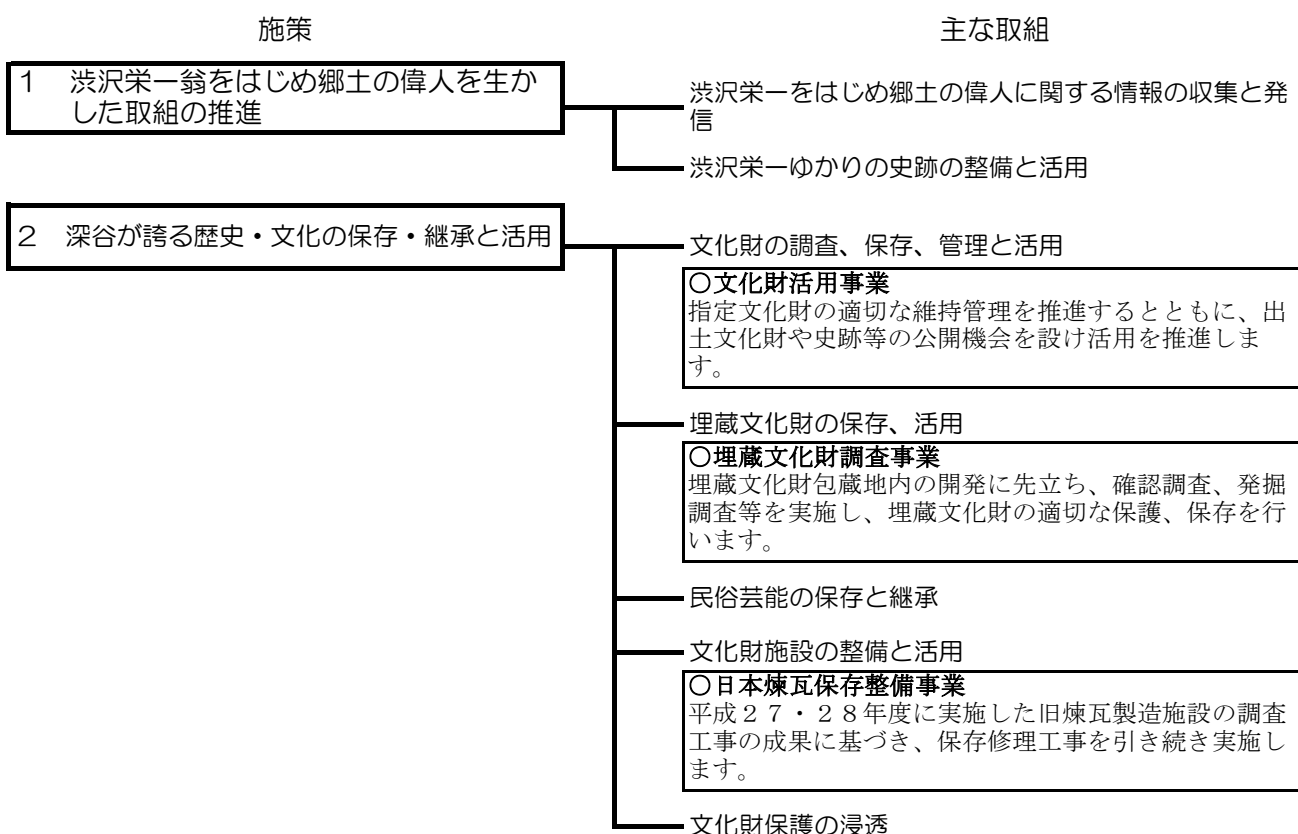
川本複合施設建設の推進及び既存公民館の施設の維持・管理を実施します。

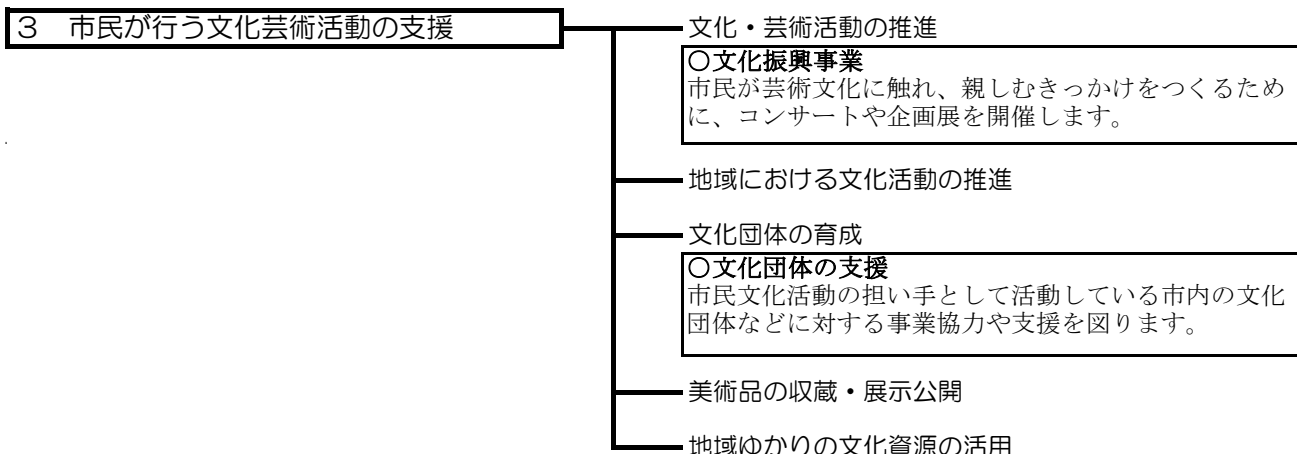
図書館施設の充実

スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実

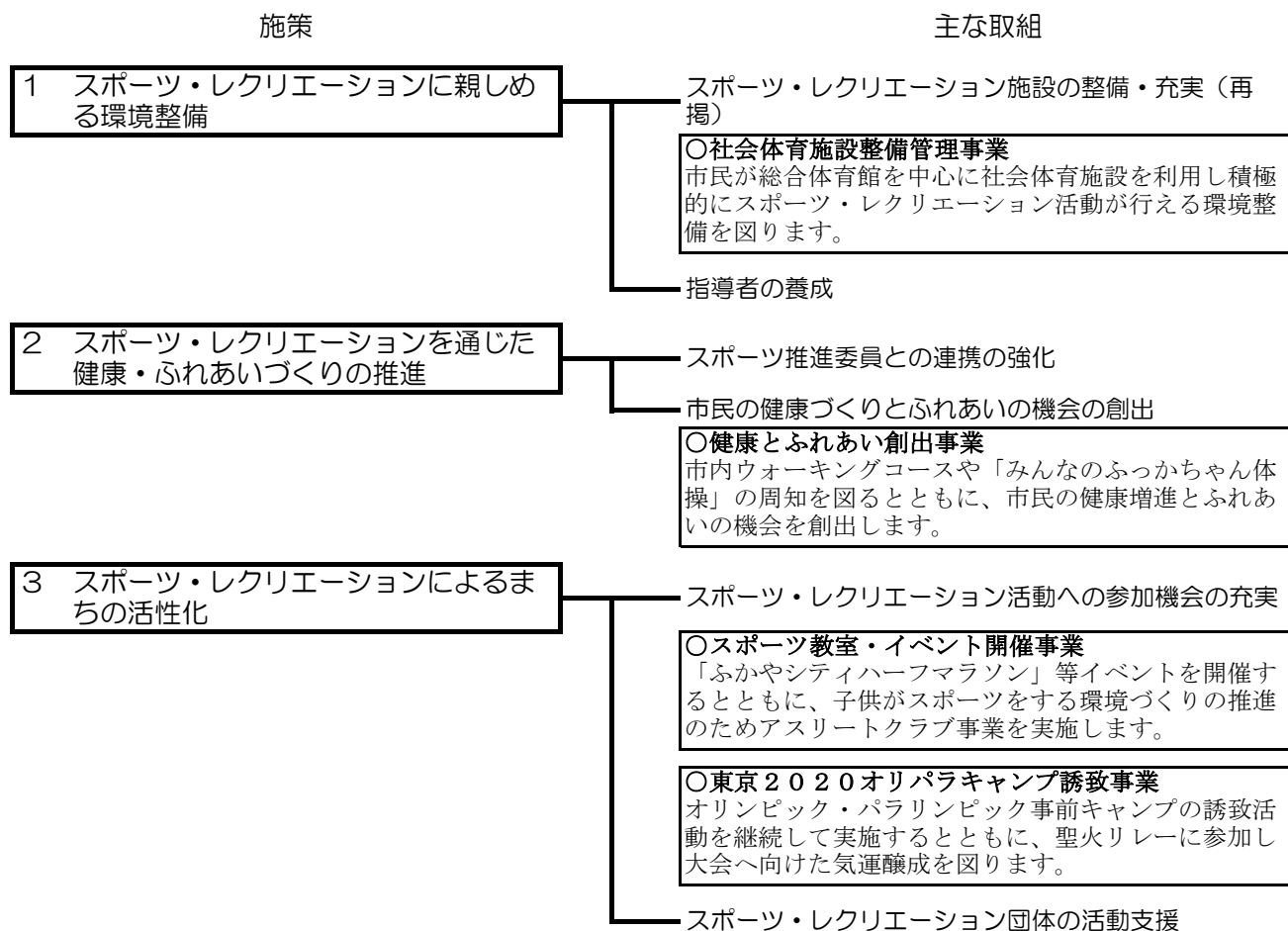


VI 郷土の歴史・文化の継承と活用

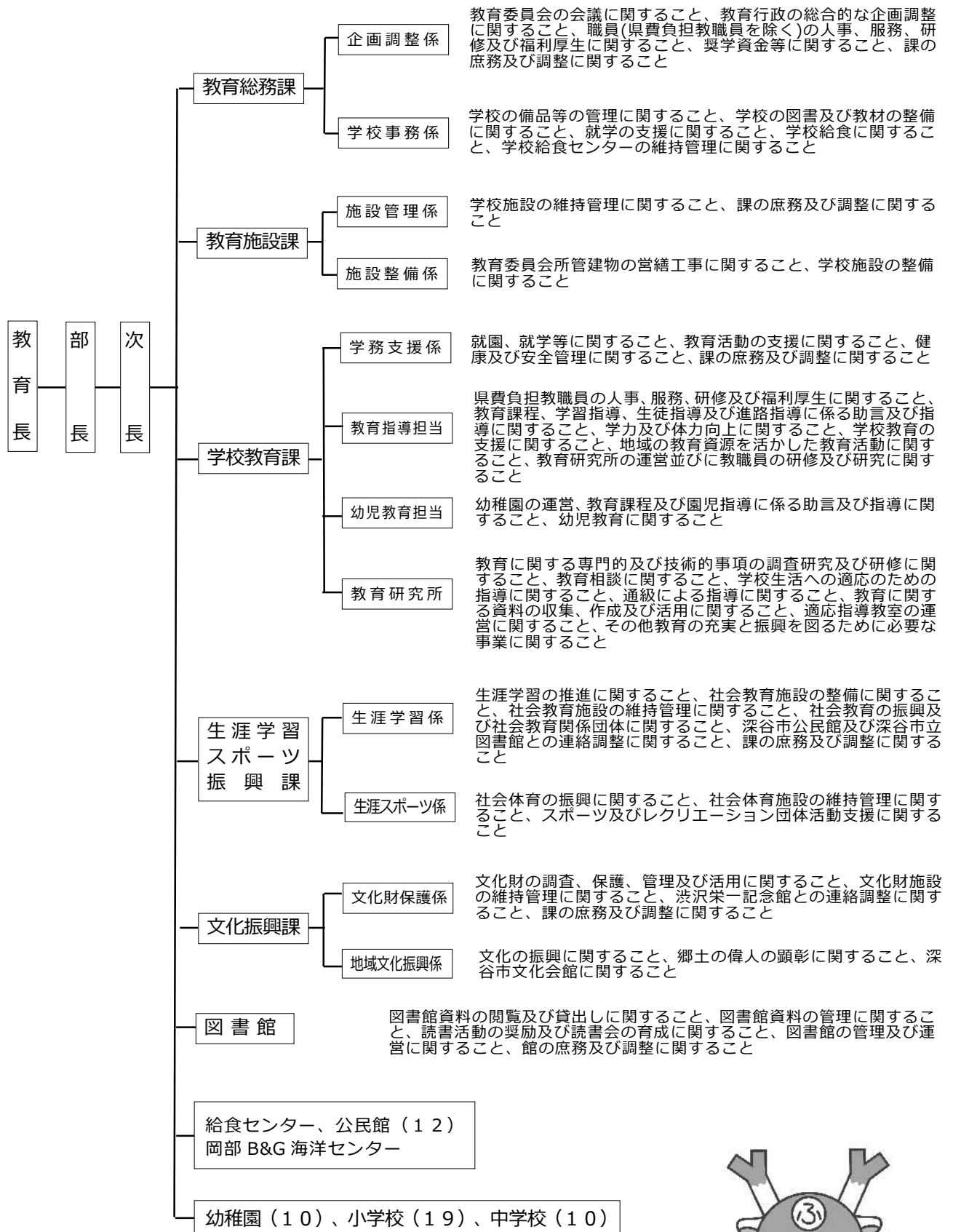




VII スポーツ・レクリエーションの推進



2. 組織及び事務分掌



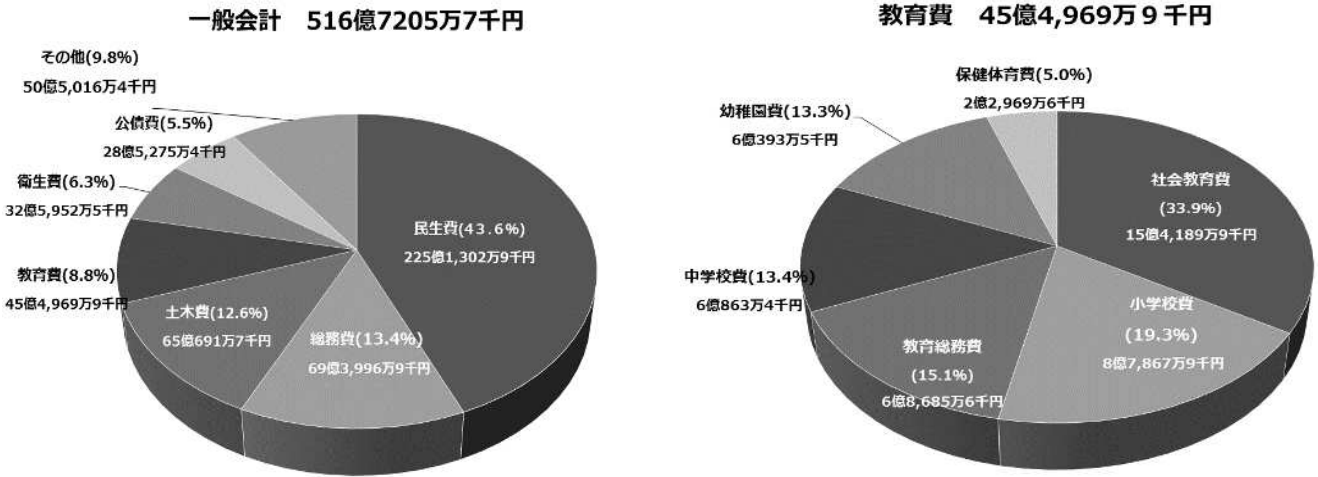
3. 事務局及び教育機関職員数（令和2年4月1日現在）（単位：人）

	教育長	事務職員	園長・教務主任 教務・教諭	業務員	給食調理員	専門員・指導員 相談員・支援員	合計
職 員 数	1	106 (14)	36	1	4	16	164

※事務職員には、技術職員を含む。
※事務職員の（ ）内の数字は、指導主事兼務の職員数である。

4. 令和2年度一般会計予算、教育費（歳出）

令和2年度の教育予算は、一般会計の当初予算額 516億7,205万7千円のうち、45億4,969万9千円で、総予算額に占める割合は8.8%となっています。



5. 令和2年度教育費内訳、財源内訳（当初予算）（単位：千円）

項 目	予 算 額	教育費に対する 割合(%)	財 源 内 訳			
			特 定 財 源			一般財源
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	
教育総務費	686,856	15.1	7,412	0	4,029	675,415
小学校費	878,679	19.3	4,203	0	6,803	867,673
中学校費	608,634	13.4	5,264	0	1,568	601,802
幼稚園費	603,935	13.3	168,647	0	4,356	430,932
社会教育費	1,541,899	33.9	76,279	197,900	43,161	1,224,559
保健体育費	229,696	5.0	706	0	3,015	225,975
合 計	4,549,699	100.0	262,511	197,900	62,932	4,026,356

6. 教育費（当初予算）

（単位：千円）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
一般会計（A）	48,128,626	45,952,490	51,610,854	53,905,704	51,672,057
教育費（B）	4,211,995	4,564,107	5,645,130	4,632,808	4,549,699
一般会計に対する 割合（B/A）	8.8%	9.9%	10.9%	8.6%	8.8%

7. 児童生徒 1 人当たりの教育費（当初予算）

（児童生徒数は各年度 5 月 1 日現在）

	小学校費 （千円）	児童数 （人）	児童 1 人当たり （千円）	中学校費 （千円）	生徒数 （人）	生徒 1 人当たり （千円）
平成 28 年度	812,755	7,767	105	676,123	4,007	169
平成 29 年度	906,141	7,613	119	663,137	3,920	169
平成 30 年度	1,214,210	7,456	163	624,050	3,850	162
令和元年度	1,065,613	7,294	146	623,773	3,844	162
令和 2 年度	878,679	7,106	124	608,634	3,829	159

8. 就学援助状況（令和元年度実績）

（単位：人、円）

分 類	小 学 校		中 学 校		合 計	
	人 数	金 額	人 数	金 額	人 数	金 額
学 用 品	793	8,352,990	484	10,260,760	1,277	18,613,750
通 学 用 品 費	793	1,628,430	484	1,024,680	1,277	2,653,110
新入学児童生徒学用品費（令和元年度）	89	3,613,400	147	6,967,800	236	10,581,200
新入学児童生徒学用品費（令和2年度）	82	4,149,200	147	8,431,000	229	12,580,200
通 学 費	10	113,500	-	-	10	113,500
校外活動費（泊まり有）	142	498,356	238	1,463,700	380	1,962,056
校外活動費（泊まり無）	698	1,091,851	27	53,731	725	1,145,582
修 学 旅 行 費	147	3,145,963	163	9,828,900	310	12,974,863
ク ラ ブ 活 動 費	-	-	329	868,975	329	868,975
生 徒 会 費	-	-	484	951,966	484	951,966
P T A 会 費	618	1,923,415	436	1,720,171	1,054	3,643,586
体 育 実 技 用 品 費	-	-	53	209,300	53	209,300
学 校 給 食 費	792	31,432,236	483	23,648,720	1,275	55,080,956
医 療 費	3	22,700	2	82,530	5	105,230
合 計		52,358,641		58,544,433		110,903,074

9. 学校給食の状況

(1) 学校給食実施校（令和2年5月1日現在）

	学 校 数	児 童 ・ 生 徒 数
小 学 校	19 校	7,106 人
中 学 校	10 校	3,829 人
合 計	29 校	10,935 人

(2) 調理場方式（令和2年5月1日現在）

単独調理場	小 学 校	18 カ所
	中 学 校	10 カ所
学 校 給 食 セ ン タ ー		1 カ所
合 計		29 カ所

(3) 給食関係職員配置状況・給食実施稼働状況（令和2年5月1日現在）

	栄養士数（人）	調理員数（人）	給食対象者数（人）	調理員一人当たりの調理食数（食）
小 学 校	18（13）〈5〉	113〔113〕	6,373	56.4
中 学 校	10（7）〈3〉	63〔59〕	3,829	60.8
学校給食センター	1（0）〈0〉	8〔8〕	733	91.6
合 計	29（20）〈8〉	184〔180〕	10,935	59.4

※（ ）は市費臨時学校栄養士の内数、〈 〉は栄養教諭の内数、〔 〕は委託職員の内数。

(4) 給食費（令和元年度実績）

	月 額	1 食単価	実施回数
小 学 校	4,100 円	240 円	172 回
中 学 校	4,900 円	300 円	166 回

※年間 11 ヶ月徴収

※令和元年度については新型コロナウイルス感染症対策における臨時休業となったため、小中学校ともに予定していた回数と異なる。

(5) 深谷市の学校給食における取組

① 給食活動について

ランチルーム給食、交流給食（同一学年内、異学年、全校合同）、バイキング給食、親子試食会、招待給食（地域住民など）、とうもろこし・たけのこの皮むき体験、農業体験などをおし、望ましい食習慣の形成を図っています。

② 郷土料理について

郷土の偉人である渋沢栄一翁にちなんだ「煮ぼうとう」、鎌倉時代の武将、畠山重忠にちなんだ「重忠汁」、特産のねぎを使用した「ねぎぬた」などを実施しています。

Ⅱ 学 校 教 育



1. 重点施策

明日の人材を生む学校教育の推進

～「夢とところざしをもち、まごころと思いやりのある深谷の子」の育成を目指して～

(1) 幼児教育の充実

① 保・幼・小・中の連携

- ・0歳から15歳までの子どもを一貫して育てるため、保育園・幼稚園・小学校・中学校間の相互の情報交換を行い、園及び校種間のなめらかな接続を図る。

② 幼児教育振興のための環境整備

- ・「就園前教育支援事業」や「ふかやこども園のモデル園の実践」を通じ、子育て支援の充実を図る。

(2) 小・中学校教育の充実

① 学校管理・運営の充実

◆「青淵学びの郷づくり」の推進

- ・深谷市のめざす子ども像「夢とところざしをもち、まごころと思いやりのある深谷の子」の育成につながる行動目標として「深谷の子『6つの誓い』」を、子どもを取り巻くオール深谷で推進する。
- ・中学校に学校総合支援員を配置し、学校運営や安全、学習など学校を総合的に支援する。
- ・中学校に学習支援員を配置し、中学1年生から中学3年生を対象に補習学習を実施し、学習に不安を感じている生徒の学力の向上に努める。
- ・深谷市学校問題サポートチームを随時設置し、対応に苦慮する学校への支援に努める。
- ・アシスタントティーチャーやALT、EATを配置し、児童生徒の学力の向上に努める。
- ・園及び校種間のなめらかな接続を図り、小中一貫教育推進事業の充実を図る。
- ・「ふるさと先生」の小中学校への派遣や深谷市独自の道徳副読本「渋沢栄一翁 ところざし読本」及び「深谷ところざし読本」の活用、ところざし深谷国際塾・科学塾、「ところざし深谷ふるさと塾」渋沢栄一翁 ジュニアボランティアガイドの実施により、道徳教育・生き方教育・ふるさと教育の充実とともに、ところざしを立てさせ、夢を育む。
- ・郷土の偉人・渋沢栄一翁の「立志と忠恕」の精神を育み、持続可能な深谷のまちづくりに貢献できる人材を育成するため、市内の幼・保・小・中・高・大の各園・学校が体系化されたカリキュラムのもと、地域の関係団体、機関等と連携し、豊富な教育資源を活用して発達段階に応じた「ふるさと・ふかや・渋沢学」を推進する。

- ・地域人材を活用した学習保障の場を設け、基礎学力に不安のある児童生徒の学習支援に努める。
- ・スクールライフサポーターなどの配置により、積極的な生徒指導を推進し、いじめや不登校、非行・問題行動の未然防止を図る。
- ・英語及び数学検定をサポートし、学習意欲の向上に努める。
- ・国、県等の調査でカバーできない分野においてN R T等の調査を行い、学力の実態を把握し、「つまずき」への早期対応、学力向上に努める。
- ・「ふっかちゃん子ども福祉基金」を活用し、ふっかちゃん i（愛）サポート事業として小・中学校の特別支援学級に iPad を整備して学習支援を推進する。
- ・スクール・サポート・スタッフを配置し、教員の授業準備の補助等を行い、学校運営の充実を図る。

◆なめらかな接続

- ・保・幼・小・中の担当者間で授業参観や情報交換を行うとともに児童生徒の交流を実施することにより、園及び校種間のなめらかな接続を図る。
- ・中学校と高等学校の連絡協議会を開催し、進路指導の充実を図る。
- ・市内にある高等学校・大学などの高等教育機関との積極的な連携を図り、学校教育の充実に努める。
- ・教科支援エキスパートを全小学校に配置し、小学校の授業を充実させることで中 1 へのなめらかな接続を目指す。

◆教育と福祉との連携

- ・教育委員会とこども未来部、福祉健康部等との連携を図り、子どもの継続的・組織的な支援体制づくりに努める。

◆深谷市コミュニティ・スクールの推進

- ・市民協働の観点から、全小・中学校に学校運営協議会を設置し、地域総がかりで次代を担う子供たちの育成を図る。

◆教育研究所の資源活用

- ・教育に関する専門的及び技術的事項の調査研究及び研修に努める。
- ・教育研究所学校福祉相談員等による教育相談や巡回相談など、児童生徒や保護者、学校への適切な支援に努める。
- ・学校と教育研究所との連絡・相談体制を整備・充実し、不登校の解消に努める。
- ・「いきいき教室」、「いきいきナイトスクール」を開設し、学習支援を充実させ、段階的な学校復帰を図る。

② 教育内容の充実

◆「知恵」「心」「体」のバランスのとれた教育の推進

- ・「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」の3つの分野において、基礎的、基本的な内容の確実な定着を図る。

◆基礎・基本の定着と活用力の向上

- ・少人数指導によるきめ細やかな指導を取り入れた学習活動の推進に努める。
- ・中学校学習支援員がコーディネートし、学校総合支援員、学生ボランティアの協力のもと、中学生補習学習を推進する。
- ・児童生徒の発達の段階を踏まえ、各教科の基礎・基本を明確にした指導目標を設定し、指導内容の精選・重点化を図った教育課程の編成に努める。
- ・学校訪問の充実を図り、「深谷市授業スタンダード」をもとに各教科等における厳選された指導内容、個を生かす指導方法の工夫、各教科等の特性に応じた学習評価をもとに、児童生徒一人一人が意欲的に学習に取り組む授業の創造に努める。

◆生徒指導体制の充実

- ・スクールライフサポーターや教育相談員、学校総合支援員配置事業を通じ総合的な不登校対策を推進するとともに、学校が抱える問題の解決に向けた支援と安全指導の充実に努める。
- ・全教職員が児童生徒理解に基づく指導・援助に努め、いじめや不登校、非行・問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応ができるよう、いじめ問題対策連絡協議会等を機能させ、「安心ふっかネット」や「家庭の安心ふっかネット」を活用する等、組織的な生徒指導体制を確立するとともに、家庭・地域等との連携を密にし、地域ぐるみの健全育成活動を推進する。

◆道徳教育の推進

- ・「渋沢栄一翁 ころろざし読本」及び「深谷ころろざし読本」・「青淵・ころろざし歳時記」等の活用や「ふるさと先生」の派遣により、道徳の時間の充実・改善を図り、立志の精神や忠恕の心、命を大切にする心等を育む。
- ・教育活動全体を通じて行う道徳教育の推進により、児童生徒が生きがいのある学校生活を送ることができ、児童生徒の自主性や自発性を大切にし、成就感・存在感が得られるような教育活動を進め、共感的な人間関係の醸成に努める。

◆体力向上及び健康・安全教育の推進

- ・体育授業等の充実を通じ、児童生徒が自ら運動する意欲を培い、体力向上に取り組むとともに、生涯にわたって積極的に運動に親しむ資質や能力を身に付けさせるために、発達の段階に応じた指導の充実に努める。
- ・部活動指導員、外部指導者を設置し、専門的な技術指導による部活動の充実及び活性化を図る。
- ・生涯にわたって健康で充実した生活を送るための基礎を培うよう、学校の教育活動全体を通じ

た健康教育の推進に努める。

- ・緊急連絡サイトや保護者連絡メールなどの活用を通じ、児童生徒の安心安全の確保に努めるとともに、児童生徒が自ら日常生活に潜む様々な危険に気付き、的確な判断の下に安全に行動し、他者の安全にも配慮することができる資質や能力の育成に努める。
- ・生涯にわたって健康で豊かな生活を送るための望ましい食生活や、好ましい人間関係を育成するために食育の推進と朝食欠食の解消に努める。

◆人権教育の推進

- ・様々な人権課題を解決しようとする児童生徒を育成するため、自校の人権教育推進上の課題を明確にし、人権問題に対する正しい知識と理解の定着を図るとともに、人権感覚の育成に努め、全教職員の共通理解の下、児童虐待防止教育や情報モラル教育等の研修会を充実させ、教育活動全体を通じて計画的・組織的に人権教育の推進に努める。

◆国際性をはぐくむ教育の推進

- ・A L T、E A Tの活用を図り、小学校における外国語、外国語活動、中学校における英語教育の充実に努める。
- ・外国人児童生徒や帰国児童生徒への日本語指導の充実に努めるとともに、英語王国やこころざし国際塾などの実施を通じて国際理解教育の推進に努める。

◆進路指導・キャリア教育の充実

- ・児童生徒一人一人が自己の進路に対する目的意識を高めるとともに、望ましい勤労観や職業観を身に付け、希望と自信をもって積極的、意欲的に学校生活に取り組めるよう、家庭や地域との連携を図り、児童生徒理解を基盤にした生き方指導、支援体制づくりに努める。
- ・中学校と高等学校の連絡協議会を開催し、進路指導の充実に努める。

◆情報教育の推進

- ・全校に整備された一人一台端末やI C T機器を活用し、教師による教材提示や児童生徒の発表等、より分かりやすい授業を行うことで、確かな学力の定着に努める。
- ・一人一台端末やI C T機器を活用する学習活動を積極的に取り入れ、情報の収集や選択、創造、発信などの情報活用能力の育成に努める。
- ・I C T支援員を活用し、プログラミング教育にかかる教材、指導法の研究開発等に努めるとともに授業支援を行う。

◆環境教育の推進

- ・環境への理解を深め、環境を大切にする心を育成するとともに、緑豊かな学校づくりに努める。

◆教職員の指導力向上

- ・教育研究所専門員や学校福祉相談員などの活用を図り、教育と福祉の連携や特別支援教育の推

進に努める。

- ・教育研究所研究協力員、発達支援アドバイザーを中心に、経験に応じた研修や指導力向上の為の研修の充実を図るなど、教職員研修の拠点とする。

（３）特別支援教育の推進

① 特別支援教育体制の充実（多様な学びの場の充実）

② 就学支援・相談の充実

- ・早期からの教育相談、支援体制の構築（教育・福祉の連携の活用）
- ・継続した支援体制の充実（小中連携情報交換会等の活用）

③ 特別支援教育の視点に立った指導の充実と特別支援補助員の活用

- ・特別支援学級に在籍する児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、適正な就学支援及び個に応じた特別の教育課程を編成する。
- ・通常の学級に在籍する特別な教育的支援を要する児童生徒に対し、通級による指導を行う。
- ・通常の学級に在籍している特別な教育的支援を要する児童生徒について、教育支援プランを作成し、一人一人の教育的ニーズに応じた特別の教育課程を編成する。

④ 特別支援学校や他機関との連携

⑤ 支援籍学習の推進



（４）学校施設・設備等の整備

① 学校施設設備の整備・充実

- ・児童生徒の活動を確保するための施設・設備の整備・充実に努める。

② I C T機器等の整備・充実

- ・G I G Aスクール構想を基に、令和２年度中に、市内全小・中学校の児童生徒に、一人一台端末を整備するとともに、高速大容量の通信ネットワーク環境の強化を図り、教室で最新のI C T機器を活用した授業が展開できるよう努める。

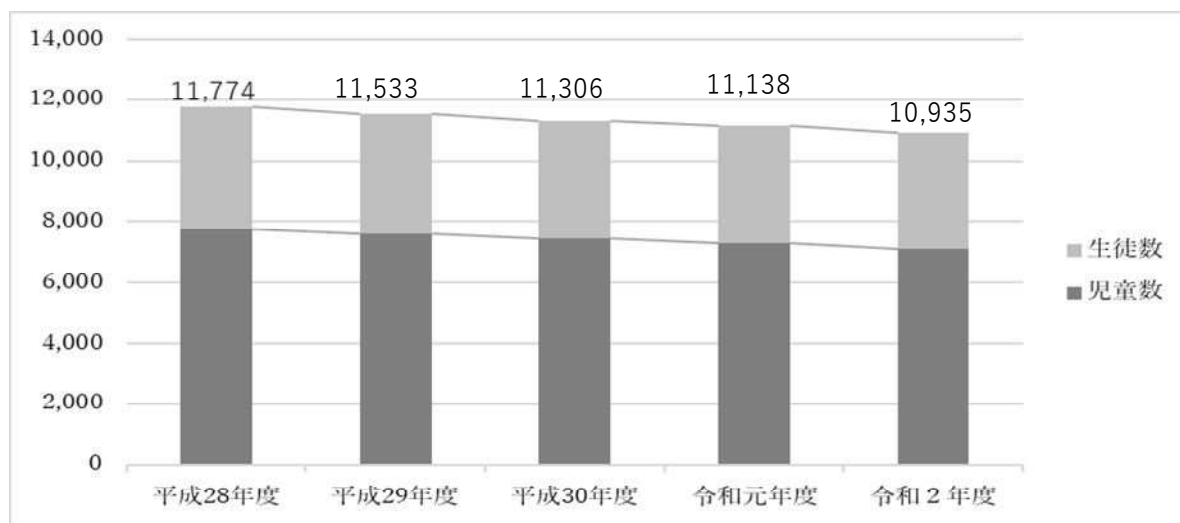
③ 学校図書館の充実と子ども読書活動の推進

④ 学校備品の計画的な整備

2. 児童・生徒・教職員数の推移（各年度5月1日現在）（学校基本調査より）

（1）5年間の児童・生徒数の推移

（単位：人）



年 度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
児童数	7,767	7,613	7,456	7,294	7,106
生徒数	4,007	3,920	3,850	3,844	3,829
合 計	11,774	11,533	11,306	11,138	10,935

（2）5年間の小・中学校教職員数の推移

（単位：人）

年 度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
小学校教職員数	463	458	472	441	436
中学校教職員数	276	266	261	272	275
合 計	777	734	724	733	711



深谷市学校教育グランドデザイン

教育の大きな役割

教育には、子供たちに、変化の激しい社会をたくましく生き抜く力や社会を形成する主体者としての資質を育成することが求められています。将来の社会的自立に向けて、人との関わりや社会の中で、自らの夢を描き、実現できるよう、子供たちを教え導いていきます。

深谷の教育資源に立脚して

深谷市には、渋沢栄一翁や生沢クノ女史など、多くの先人がいます。また、豊かな自然や世界をリードする産業が立地する環境にも恵まれています。義務教育段階での基礎・基本の徹底を踏まえつつ、ふるさと「深谷」のすばらしい資源を活用した教育を推進します。

深谷市は渋沢栄一翁の心を受け継ぐ教育に取り組みます

郷土の偉人 ～ 渋沢栄一翁 ～



渋沢栄一翁の足跡から、今、求められる教育の姿にたどり着くことができます。

- I 近代日本の国づくりを推進した生涯～「**立志の精神**」
- II 論語を精神的基盤として、実業界にたずさわった姿～「**忠恕の心**」
- III 人々をまとめ、会社をおこし、慈善活動・国際親善に取り組む姿～「**支え合う心**」

【深谷市の教育の基本理念】

立志と忠恕の深谷教育～ふるさとを愛し、夢をもち志高く生きる～

夢とこころざしをもち、まごころと思いやりのある深谷の子

深谷の子 ちか 「6つの誓い」

私は、**夢**に
向かって
努力します。



【立志】

私は、たくさん
挑戦、**体験**
します。



私は、**毎日**
勉強します。



私は、**すすんで**
あいさつをします。



【忠恕】

私は、脱いだ
くつを
そろえます。



私は、**心**のこもった
ことばを
つかいます。



深谷市のめざす子供像に
向かって「生きる力(知恵・
心・体)」をはぐむんだね。



タテ 学びの接続



知恵・心・体の
3つの鍵で「夢」の
扉を開けるんだね。



ヨコ 育ちの協働



人は「夢」をいだき、これを「こころざし」として掲げ、自分の人生を歩んでいきます。この「夢」を実現するためには、「**知恵、心、体**」の3つの鍵が要となってきます。子供たちが、この3つの鍵を手に入れて、生きる力を身に付け、未来を切り拓いていけるよう、学校、家庭、地域が一体となって連携・協働していきます。

確かな
学力

豊かな心

健やかな
体

第2期深谷市教育振興基本計画 基本方針

夢・志

伝統の
継承

支え合い

教育内容（重点）

夢を育む

- 【学力】 「生きる力」の基礎を育む幼児教育を推進します
- 【学力】 未来を切り拓くための確かな学力を育成します
- 【心】 まごころと思いやりを育む教育を推進します
- 【心】 生徒指導の充実、いじめ・不登校対策を推進します
- 【体】 健康の保持・増進、体力の向上と学校体育活動を推進します
- 【夢・志】 時代の変化に対応する教育を推進します
- 【夢・志】 夢を育み、志を実現するキャリア教育を推進します
- 【伝統】 郷土深谷を愛し、国際性を育む教育を推進します

深谷市独自の教育資源を生かした「学び」の充実

学力

小・中学校標準学力検査の実施
（つまずきの発見！）

ふっかちゃんタ焼け計算道場
中学生補習学習の充実
（つまずきの解消！）

研究所専門員による 教科指導の充実

深谷市授業スタンダード等
による指導力の向上！

「深谷市授業スタンダード」
推進員（SPS）の活用

体

アスリートクラブ事業
（体育指導の充実）

50m走チャレンジ

食育推進と
朝食欠食解消

中学生検定サポート事業

英検、数検の全額補助

立志式の実施

社会体験
チャレンジ

夢・志

ふるさと教育

ふるさと先生

渋沢栄一翁 こころざし読本
・こころざし歳時記

NEW 渋沢栄一翁
ジュニアボランティアガイド

深谷の子
「6つの誓い」

まごころ訪問

「ふるさと ふかや・渋沢学」の推進

- ・持続可能な深谷のまちづくりに貢献できる人材の育成
- ・市内幼・保から小・中・高・大まで一貫したふるさと教育の推進
- ・地域・産業界等と一体となった取組の推進

教育条件（重点）

夢を支える

- 【支え合い】 0歳から大人になるまでの一貫した教育を推進します
《**学びの接続**》◎ 幼・保・小・中・高・大のなめらかな接続
◎ 全中学校区で小中一貫教育の推進
- 【支え合い】 地域総がかりで次代を担う子供を育てます
《**育ちの協働**》◎ 地域と連携した教育支援、地域人材（財）の活用
◎ 学校運営協議会、教育・福祉連携推進会議等の充実
- 【支え合い】 多様なニーズに応じた特別支援教育の充実に努めます
- 【支え合い】 いじめ防止関連条例のもと、子供の安全・安心を図ります

新しい教育課題に対応した「教育環境」の充実

◇青淵・学びの郷づくり

人

教科支援エキスパート

小学校の音楽科、家庭科等の教員を特別配置

英語アシスタント
ティーチャー（EAT）

小学校高学年外国語の
授業をサポート

発達支援
アドバイザー

専門性を活かし、
特別支援教育を充実

学校総合支援員

学校の課題を
総合的に支援

部活動指導員

専門的な指導による
部活動充実

スクール・サポート・スタッフ（S・S・S）

教員のサポートを行うスタッフの配置

ふっかちゃんタ焼け計算道場指導者
アシスタントティーチャー・理科支援員
スクールライフサポーター
外国語指導助手（ALT）
教育相談員
特別支援補助員
ICT支援員
学校司書
日本語指導員
中学校学習支援員

環境

いきいきナイトスクール

全校自校式給食

NEW 幼稚園給食開始

NEW ICTの整備と活用

新時代の学びに必要な学校ICT
環境の整備・授業活用

全児童にヘルメット配布

支え合い

幼・保・小・中連絡協議会

生徒指導推進協議会
（学校警察連絡協議会）

学校事務の共同実施

中・高連絡協議会

アシスト会議

教育・福祉連携推進会議

深谷市登下校安全見守り連絡会

深谷市コミュニティ・スクール

3. 学校保健

(1) 児童・生徒の体位の平均値一覧（令和元年度）

		小 学 校											
		1 学年		2 学年		3 学年		4 学年		5 学年		6 学年	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
身長(cm)	深谷市	116.6	115.7	122.8	121.4	128.4	127.1	133.3	133.3	138.7	140.0	145.1	146.4
	埼玉県	116.6	116.2	122.3	121.6	127.9	127.2	133.8	133.0	139.7	140.1	144.6	146.5
	全国	116.5	115.6	122.5	121.5	128.1	127.3	133.7	133.4	138.8	140.1	145.2	146.8
体重(kg)	深谷市	21.8	21.1	24.7	23.7	27.6	26.7	31.1	30.4	34.7	34.5	38.8	39.7
	埼玉県	21.6	21.3	23.8	23.5	26.7	26.3	30.9	29.5	34.5	34.0	37.4	38.8
	全国	21.4	20.9	24.1	23.5	27.2	26.4	30.7	30.0	34.1	34.1	38.4	39.1

* 平成 28 年度から「座高」は調査項目から削除

		中 学 校					
		1 学年		2 学年		3 学年	
		男	女	男	女	男	女
身長(cm)	深谷市	152.8	151.6	159.7	154.7	164.9	156.5
	埼玉県	152.8	151.9	159.6	154.9	165.5	156.6
	全 国	152.7	151.9	159.8	154.9	165.3	156.6
体重(kg)	深谷市	44.4	44.3	49.7	47.6	53.1	50.5
	埼玉県	44.4	43.6	48.6	46.1	53.3	50.0
	全 国	44.0	43.6	48.8	47.2	54.0	49.9

* 平成 28 年度から「座高」は調査項目から削除



(2) 学校保健関係職員数（令和 2 年 5 月 1 日現在）

（単位：人）

	学 校 医	学校歯科医	学校薬剤師	養 護 教 員	保 健 主 事
幼 稚 園	27(17)	9(9)	9(8)	-	-
小・中学校	101(49)	43(41)	29(18)	29	29

※（ ）内の数字は、実人数

4. 進 路

(1) 過去5年間の中学校卒業者の進路状況(平成27年度～令和元年度) (単位:人)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
卒業生数	1,377	1,385	1,329	1,298	1,289
進学者数 (%)	1,369 (99.4%)	1,366 (98.6%)	1,320 (99.3%)	1,288 (99.2%)	1,284 (99.7%)
就職者等数(%)	8 (0.6%)	19 (1.4%)	9 (0.7%)	10 (0.8%)	0 (0%)

(2) 過去5年間の進学者の内訳(平成27年度～令和元年度) (単位:人)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
国公立高校	981	984	932	930	897
県 (進学率)	(71.7%)	(72.0%)	(70.6%)	(72.2%)	(69.8%)
内 私立高校	304	286	290	271	286
(進学率)	(22.2%)	(20.9%)	(22.0%)	(21.0%)	(22.2%)
全 国公立高校	5	3	6	1	2
日 県 (進学率)	(0.4%)	(0.2%)	(0.5%)	(0.1%)	(0.1%)
制 外 私立高校	18	44	30	28	44
(進学率)	(1.3%)	(3.2%)	(2.3%)	(2.2%)	(3.4%)
定時制・通信制高校	42	24	39	35	39
(進学率)	(3.0%)	(1.8%)	(3.0%)	(2.7%)	(3.0%)
高等専門学校	4	8	6	8	5
(進学率)	(0.3%)	(0.6%)	(0.5%)	(0.6%)	(0.3%)
特別支援学校	15	17	17	15	11
(進学率)	(1.1%)	(1.2%)	(1.3%)	(1.2%)	(0.8%)
合 計	1,369 (100%)	1,366 (100%)	1,320 (100%)	1,288 (100%)	1,284 (100%)



5. 深谷市立教育研究所

〒366-0823 深谷市本住町12番8号
TEL 572-9456 FAX 551-3689



〔教育研究所の目ざすもの〕

- ◆教育と福祉の創造的連携の拠点
- ◆深谷の人づくりの拠点
- ◆学校支援の拠点

1. 〔教育研究所の現況〕

構 造	鉄骨造 3階建
敷地面積	2371.66㎡
延床面積	2143.31㎡
1 階	778.72㎡
2 階	713.36㎡
3 階	651.23㎡
(平成21年12月竣工)	



2. 〔教育研究所の業務概要〕

昭和55年3月、深谷市の教育の充実と振興を図るため設置され、次の業務を行っている。

- (1) 教育に関する専門的・技術的事項の調査研究及び研修に関すること
- (2) 教育相談に関すること
- (3) 学校生活への適応のための指導に関すること
- (4) 通級による指導に関すること
- (5) 教育に関する資料の収集、作成及び活用に関すること
- (6) その他、教育の充実と振興を図るために必要な事業に関すること

(1) 教育研究所調査研究（特別支援教育・教育相談・研修等）

努力点	① 教育と福祉の連携を図り、特別支援教育の視点に立った支援体制の整備と充実を図る。	
	② 教育相談活動の充実を図るための環境づくりを推進する。	
	③ 教育研究所研究協力員（幼稚園2人、小・中学校67人）を委嘱し、経験に応じた研修や教科指導力向上の為の研修の充実を図る。	
訪問指導	要請訪問	要請または必要に応じて、教育相談活動の支援
	生徒指導訪問	生徒指導について、市内全小中学校に訪問指導
	特別支援教育巡回相談	特別支援教育に関わる巡回相談
教育相談	来所相談	・学校福祉相談員・専門員による面接相談（月～金曜日 9時00分～16時30分） ・臨床心理士による面接相談（毎月第3火曜日 15時15分～） ・保護者サポート講座（年4回）
	電話相談	・児童生徒・保護者、その他、幼児児童生徒を持つ市民の電話相談への対応 ・「深谷イーネット」を開設し、悩み相談への対応
	訪問相談	・不登校児童生徒への支援 ・特別な支援が必要な児童生徒への対応 ・就学前保護者への支援



研修等	・教育研究所研究協力員研修会（年数回） ・教育相談員研修会（年５回） ・生徒指導・教育相談中級研修会（年３回） ・英語教育・算数数学教育等の研修 ・特別支援教育コーディネーター研修会（年２回） ・特別支援教育担当者研修会（年２回）
-----	--

その他	関係機関との連携	・適応指導教室「いきいき教室」の事務所管と指導助言 ・生徒指導推進連絡協議会（年５回） ・就園前幼児教育支援事業（「子育てひろば」の実施） ・要保護児童対策地域協議会 ・教育・福祉連携推進会議 ・幼保小中連絡協議会（年２回） ・就学支援委員会（年４回）
	調査統計	不登校児童生徒調査、非行問題行動調査、教育相談員活動状況調査 等
	研究等	安部・木村教育学術研究論文の公募

（２）深谷市適応指導教室

【いきいき教室】

平成１５年３月、県適応指導教室閉鎖に伴い、同年４月より長期にわたり欠席している児童生徒に対して、個別指導を通して、基礎学力を補充し、社会性を身に付け、学校に復帰する意欲を喚起することを目的にして開設した。

場所：深谷市立教育研究所３階

指導時間：月～金曜日 ９時～１５時

指導者：教育研究所専門員３人、大学生ボランティア

【いきいきナイトスクール】

昼間、学校や適応指導教室に通うことができない児童生徒を対象に学習の支援を行い、学校復帰をめざす。平成３０年５月より開室。

場所：深谷市立教育研究所３階

開室日等：週２日（原則 火・木）２時間程度（原則 １８時～２０時）

指導者：教育研究所所員（「いきいき教室」室長、専門員、指導員）

（３）通級指導教室

小・中学校の教育活動の一環として、学校以外の施設での通級による指導を実施する。教育課程上に位置づけて、自立活動を中心とした指導と、児童生徒の教育的ニーズにより教科指導の補充を行う。

通級指導教室一覧

藤沢小学校通級指導教室	発達障害・情緒障害
深谷小学校通級指導教室	難聴・言語、発達障害・情緒障害
上柴西小学校通級指導教室	発達障害・情緒障害
深谷中学校通級指導教室	発達障害・情緒障害

(4) 教育の情報化

① 教育の情報化推進計画

深谷市では、合併前の旧深谷市時代から情報教育を推進しており、平成2年度に中学校に、平成4年度から小学校にコンピュータを主軸としたマルチメディア教室を設置し、情報教育の進展を図っている。

平成8年度から、旧深谷市内全小中学校でインターネット接続を実施した。

平成13年度からは普通教室・特別教室用コンピュータの整備とインターネットの高速化を図り、教育の情報化を推進している。

現在、ハードウェアの整備、ソフトウェアの整備、教職員の研修を教育委員会施策の3つの柱にし、情報教育センターを拠点に積極的に推進している。また、校務の情報化を図り、教員一人一台のコンピュータを配備し、校務の効率化及び学校ホームページによる情報発信を進めている。また、GIGAスクール構想を踏まえ、一人一台端末の整備を進めている。

② 令和2年度「教育の情報化に関する研修」

令和2年度は、夏季休業中を利用して次のような研修を実施し、教職員の情報活用能力の育成に努める。

令和2年度「情報教育に関する研修」一覧

研修名	内 容
深谷市校務支援システム管理者研修	【対象者】システム管理者 【内 容】深谷市校務支援システムを活用しての連絡メールの配信及び職員室内で行う校務処理ソフトの活用
授業におけるICT活用研修	【対象者】新しい機器を導入した学校の職員 【内 容】新しい機器の使用法と授業での活用方法についての研修
プログラミング教育研修	【対象者】学級担任等 【内 容】授業で使えるプログラミング言語についての研修

(5) A L T（外国語指導助手）の活動

① 授業日数と時間数（令和元年度実績）

	授業日数（延べ）	時間数（延べ）
小学校（19校）	1,873 日	6,569 時間
中学校（10校）	1,245 日	3,504 時間
合 計	3,118 日	10,073 時間

② その他の学校教育活動（令和元年度実績）

- ・市内小・中学校における学校行事への参加（入学式、卒業式、体育祭、文化祭等）
- ・市内各幼稚園における行事への参加（クリスマス会等）
- ・市内小・中学校における英語指導教材作成
- ・深谷地区中学生英語弁論大会に係る指導



6. 小学校・中学校紹介

(1) 小学校



深谷市立明戸小学校

所在地 〒366-0015 深谷市蓮沼413番地

TEL 571-0868 FAX 571-7954

校長 松澤 由美子

教頭 東 宏 昭



〔学校の現況〕 (令和2年5月1日現在)

校地面積	18,962 m ²	児童数	204人
校舎延面積	4,887 m ²	学級数	7学級
運動場面積	10,317 m ²	教職員数	17人

〔開校概要〕

○明治 6 年 12 月 1 日 蓮沼小学校を惣持寺に創立
(開校記念日とする)

〔教育目標〕

- ・学ぶ力のある子
- ・心の豊かな子
- ・たくましく生きる子



深谷市立幡羅小学校

所在地 〒366-0042 深谷市東方町3丁目25番地1

TEL 571-0517 FAX 571-7774

校長 高木 千津子

教頭 飯島 真澄



〔学校の現況〕 (令和2年5月1日現在)

校地面積	24,176 m ²	児童数	472人
校舎延面積	6,188 m ²	学級数	15学級
運動場面積	10,000 m ²	教職員数	26人

〔開校概要〕

○明治 7 年 1 月 原の郷小学校を瑠璃光寺に創設
○明治 18 年 8 月 幡羅郷小学校を設置本校の起源とする

〔教育目標〕

- ・やさしく
- ・かしこく
- ・たくましく



深谷市立深谷小学校

所在地 〒366-0822 深谷市仲町19番1号

TEL 571-0329 FAX 571-0559

校長 新井 英男

教頭 本多 斎士



〔学校の現況〕 (令和2年5月1日現在)

校地面積	31,068 m ²	児童数	482人
校舎延面積	6,523 m ²	学級数	16学級
運動場面積	16,865 m ²	教職員数	33人

〔開校概要〕

○明治 6 年 8 月 深谷学校を高台院に開設

〔教育目標〕

◎こころざし高く思いやりのある深小っ子の育成

- ・夢に向けて一步一步努力する子
- ・よく考え進んで学ぶ子
- ・身体を鍛え記録を伸ばす子
- ・思いやりがあり正しく進む子



深谷市立桜ヶ丘小学校

所在地 〒366-0801 深谷市上野台 508 番地
TEL 571-0967 FAX 571-6966

校長 田 辺 鉄 章
教 頭 小 暮 建 宏

〔学校の現況〕 (令和2年5月1日現在)

校地面積 25,952 m² 児童数 545 人
校舎延面積 7,523 m² 学級数 17 学級
運動場面積 11,332 m² 教職員数 33 人

〔開校概要〕

○昭和33年4月 深谷市立桜ヶ丘小学校として開校

〔教育目標〕

○腰骨を立て、自分からとりくむ桜の子

・よく学ぶ子 ・思いやりのある子 ・きたえる子

○校訓「よく学び よく遊べ」



深谷市立大寄小学校

所在地 〒366-0831 深谷市内ヶ島 660 番地
TEL 571-0774 FAX 571-8221

校長 齋 藤 直 美
教 頭 高 木 陽

〔学校の現況〕 (令和2年5月1日現在)

校地面積 17,777 m² 児童数 132 人
校舎延面積 4,268 m² 学級数 6 学級
運動場面積 13,598 m² 教職員数 15 人

〔開校概要〕

○明治21年5月4日 大寄学校創立、永光寺他2寺（開校記念日）

〔教育目標〕

・よく考える子 ・思いやりのある子 ・がんばりぬく子

○めざす学校像

一学力向上 夢と目標を持ち お互いを支え合う 笑顔あふれる大寄小一



深谷市立藤沢小学校

所在地 〒366-0811 深谷市人見 1626 番地
TEL 571-2107 FAX 571-2648

校長 嘉 藤 央
教 頭 中 島 幹 夫

〔学校の現況〕 (令和2年5月1日現在)

校地面積 19,716 m² 児童数 542 人
校舎延面積 6,095 m² 学級数 17 学級
運動場面積 9,040 m² 教職員数 31 人

〔開校概要〕

○明治22年6月 藤沢村立藤沢尋常小学校開校

〔教育目標〕

〔なかよく・かしこく・たくましく〕

○目指す児童像

「ふるさとを愛し、ともに学び、

伸びゆく、ふじさわっ子」





深谷市立深谷西小学校

所在地 〒366-0827 深谷市栄町 14 番 18 号

TEL 571-0250 FAX 571-7064

校 長 簗 輪 進 司

教 頭 福 地 孝 史



〔学校の現況〕 (令和2年5月1日現在)

校地面積	28,679 m ²	児童数	500 人
校舎延面積	6,451 m ²	学級数	16 学級
運動場面積	14,880 m ²	教職員数	31 人

〔開校概要〕

○昭和36年4月 深谷西小学校開校（深谷小内）

○昭和36年5月 新校舎移転（開校記念日）

〔教育目標〕

- ・かしこい子
- ・やさしい子
- ・たくましい子



深谷市立常盤小学校

所在地 〒366-0034 深谷市常盤町 58 番地 2

TEL 571-4923 FAX 571-4924

校 長 白 井 裕 一

教 頭 鳥 羽 正 人



〔学校の現況〕 (令和2年5月1日現在)

校地面積	20,086 m ²	児童数	670 人
校舎延面積	6,888 m ²	学級数	19 学級
運動場面積	8,395 m ²	教職員数	33 人

〔開校概要〕

○昭和46年4月 常盤小学校467人にて開校

〔教育目標〕

かしこく やさしく たくましく
～生きる力・夢見る力の育成～



深谷市立八基小学校

所在地 〒366-0002 深谷市下手計 1300 番地

TEL 587-2250 FAX 587-2296

校 長 笠 原 直 史

教 頭 境 野 仁



〔学校の現況〕 (令和2年5月1日現在)

校地面積	19,633 m ²	児童数	129 人
校舎延面積	4,233 m ²	学級数	6 学級
運動場面積	11,579 m ²	教職員数	17 人

〔開校概要〕

○明治 6 年 8 月 横瀬小学校を横瀬福王寺に開校

○明治 29 年 12 月 新校舎新築し移転開校（開校記念日）

〔教育目標〕

かしこく なかよく たくましく



深谷市立上柴西小学校

所在地 〒366-0052 深谷市上柴町西5丁目11番地1

TEL 571-7580 FAX 571-7120

校長 柴崎 千穂

教頭 小谷野 聖二



〔学校の現況〕 (令和2年5月1日現在)

校地面積	21,573 m ²	児童数	490人
校舎延面積	6,570 m ²	学級数	15学級
運動場面積	11,598 m ²	教職員数	32人

〔開校概要〕

○昭和54年4月 深谷市立上柴西小学校として開校

〔教育目標〕

- ・かしこく (知育)
- ・やさしく (徳育)
- ・たくましく (体育)



深谷市立上柴東小学校

所在地 〒366-0051 深谷市上柴町東5丁目9番地1

TEL 573-7435 FAX 573-7477

校長 持田 倫武

教頭 蛭川 や寿子



〔学校の現況〕 (令和2年5月1日現在)

校地面積	27,245 m ²	児童数	440人
校舎延面積	5,565 m ²	学級数	12学級
運動場面積	15,346 m ²	教職員数	27人

〔開校概要〕

○昭和59年4月 深谷市立上柴東小学校開校

〔教育目標〕

夢と志をはぐくむ上柴東っ子の育成

- ・本気で学ぶ子 一本気ー
- ・思いやりがある子 ー仲よくー
- ・進んで運動する子 ー元気よくー



深谷市立豊里小学校

所在地 〒366-0019 深谷市新戒635番地

TEL 587-2002 FAX 587-2276

校長 小林 義治

教頭 棚村 かおり



〔学校の現況〕 (令和2年5月1日現在)

校地面積	20,223 m ²	児童数	195人
校舎延面積	4,161 m ²	学級数	6学級
運動場面積	10,723 m ²	教職員数	16人

〔開校概要〕

昭和60年4月 深谷市立豊里小学校として開校

〔教育目標〕

- ・よく学ぶ子 (やるきいっぱい)
- ・思いやりのある子 (やさしさいっぱい)
- ・体力のある子 (げんきいっぱい)



深谷市立岡部小学校

所在地 〒369-0203 深谷市普濟寺 1305 番地

校長 強 瀬 哲 朗

教頭 黒 沢 みどり

〔学校の現況〕 (令和2年5月1日現在)

校地面積	17,183 m ²	児童数	352 人
校舎延面積	5,076 m ²	学級数	12 学級
運動場面積	8,520 m ²	教職員数	22 人

〔開校概要〕

- 明治6年10月 普濟寺本堂に開設、普濟寺学校と称す
- 明治22年4月 岡部尋常小学校となる

〔教育目標〕

「正しく 豊かに」

- よく学ぶ子
- 思いやる子
- きたえる子

元気と笑顔

みんな大好き 岡部小



深谷市立榛沢小学校

所在地 〒369-0223 深谷市榛沢 802 番地 1

TEL 585-2715 FAX 585-6607

校長 横 田 茂 男

教頭 常 木 誠 司

〔学校の現況〕 (令和2年5月1日現在)

校地面積	21,773 m ²	児童数	180 人
校舎延面積	3,834 m ²	学級数	7 学級
運動場面積	12,812 m ²	教職員数	17 人

〔開校概要〕

- 明治5年 学制発布により後榛沢東光寺に開校
- 明治22年6月 榛沢尋常小学校開校

〔教育目標〕

ふるさとを愛し、自己の夢の実現に向けて努力する児童の育成

〔めざす児童像〕

- 進んで勉強する子
- 思いやりのある子
- 体をきたえる子



深谷市立本郷小学校

所在地 〒369-0213 深谷市針ヶ谷 506 番地

TEL 585-4191 FAX 585-6608

校長 齊 藤 寛

教頭 松 村 哲

〔学校の現況〕 (令和2年5月1日現在)

校地面積	35,833 m ²	児童数	210 人
校舎延面積	4,119 m ²	学級数	7 学級
運動場面積	17,037 m ²	教職員数	16 人

〔開校概要〕

- 明治22年4月 本郷村立本郷尋常小学校として独立

〔教育目標〕

- 思いやりのある子
- よく考える子
- がんばる子

『あいさつ日本一』『笑顔があふれる』本郷小学校





深谷市立岡部西小学校

所在地 〒369-0201 深谷市岡 2949 番地
TEL 585-4892 FAX 585-6609

校長 田野 智恵子
教頭 久保田 和人



〔学校の現況〕 (令和2年5月1日現在)

校地面積	26,024 m ²	児童数	266 人
校舎延面積	3,936 m ²	学級数	10 学級
運動場面積	14,333 m ²	教職員数	22 人

〔開校概要〕

○昭和 53 年 4 月 1 日 岡部小学校より分離 現在地に開校

〔教育目標〕

- ・おもいやりのある子
- ・かんがえる子
- ・にこにこ明るい子
- ・しっかりがんばる子



深谷市立川本北小学校

所在地 〒369-1101 深谷市長在家 143 番地
TEL 583-2007 FAX 583-6616

校長 兵頭 一 樹
教頭 藤 塚 健司郎



〔学校の現況〕 (令和2年5月1日現在)

校地面積	17,751 m ²	児童数	398 人
校舎延面積	6,166 m ²	学級数	12 学級
運動場面積	8,301 m ²	教職員数	25 人

〔開校概要〕

○明治 23 年 10 月 11 日 武川小学校開校

〔教育目標〕

豊かな心をもち
たくましく生きる
児童の育成
やさしく
かしこく
たくましく



深谷市立川本南小学校

所在地 〒369-1105 深谷市本田 4888 番地
TEL 583-3019 FAX 583-6509

校長 染 谷 明 信
教頭 金 子 あづさ



〔学校の現況〕 (令和2年5月1日現在)

校地面積	30,159 m ²	児童数	166 人
校舎延面積	4,973 m ²	学級数	6 学級
運動場面積	12,100 m ²	教職員数	16 人

〔開校概要〕

○明治 6 年 12 月 6 日 本田小学校創立

〔教育目標〕

- 進んで学ぶ子
- 思いやりのある子
- 体をきたえる健康な子



深谷市立花園小学校

所在地 〒369-1246 深谷市小前田 1463 番地 1

TEL 584-0478 FAX 584-0479

校長 茂木 隆資

教頭 加藤 英俊

〔学校の現況〕 (令和2年5月1日現在)

校地面積	32,737 m ²	児童数	733 人
校舎延面積	6,950 m ²	学級数	21 学級
運動場面積	12,659 m ²	教職員数	38 人

〔開校概要〕

○明治6年 母体となる用土学校・小前田学校・永田学校が開校

〔教育目標〕

- ① はなしをよく聞き、よく学ぶ子
- ② なかまとなかよく協力する子
- ③ そとで元気に活動する子
- ④ のぞみにむかってがんばる子



(2) 中学校



深谷市立明戸中学校

所在地 〒366-0016 深谷市新井 18 番地

TEL 571-0869 FAX 573-0634

校長 相川 至宏

教頭 新井 由美子

〔学校の現況〕 (令和2年5月1日現在)

校地面積	24,796 m ²	生徒数	101 人
校舎延面積	4,973 m ²	学級数	3 学級
運動場面積	13,638 m ²	教職員数	15 人

〔開校概要〕

○昭和22年4月 新学制施行により明戸小の一部、9教室
(8学級)を借り使用 4月23日開校式挙行

〔教育目標〕

- ・自ら進んで学ぶ生徒 (思えよ わが理想)
- ・思いやりのある生徒 (光れよ わが心)
- ・健康で粘り強い生徒 (鍛えよ わがからだ)





深谷市立幡羅中学校

所在地 〒366-0034 深谷市常盤町 38 番地

TEL 571-0229 FAX 571-0328

校長 島 崎 祐 子

教 頭 中 川 智 行

〔学校の現況〕 (令和2年5月1日現在)

校地面積	36,193 m ²	生徒数	568 人
校舎延面積	8,270 m ²	学級数	15 学級
運動場面積	18,390 m ²	教職員数	36 人

〔開校概要〕

○昭和22年4月 開校

〔教育目標〕

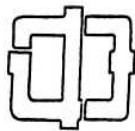
高く志を抱き 心豊かにたくましく生きる生徒の育成

<目指す生徒像>

○心を磨く生徒

○本気で学ぶ生徒

○体を鍛える生徒



深谷市立深谷中学校

所在地 〒366-0821 深谷市田谷 45 番地 2

TEL 571-0451 FAX 571-0775

校長 石 川 浩

教 頭 小久保 俊 之

〔学校の現況〕 (令和2年5月1日現在)

校地面積	42,001 m ²	生徒数	479 人
校舎延面積	9,176 m ²	学級数	13 学級
運動場面積	21,248 m ²	教職員数	33 人

〔開校概要〕

○昭和54年4月 開校 (旧深谷中と大寄中が統合)

〔教育目標〕

志高く

・自ら考え 学び続ける生徒

・心豊かで 思いやりのある生徒

・体を鍛え やり抜く生徒



深谷市立藤沢中学校

所在地 〒366-0811 深谷市人見 1973 番地

TEL 571-0742 FAX 573-0408

校長 加 藤 修

教 頭 立 道 竜 之

〔学校の現況〕 (令和2年5月1日現在)

校地面積	44,105 m ²	生徒数	312 人
校舎延面積	6,037 m ²	学級数	9 学級
運動場面積	19,994 m ²	教職員数	27 人

〔開校概要〕

○昭和22年4月23日 開校

〔教育目標〕

確かな学力の向上と健やかな心身の育成

・自ら学ぶ生徒

・心豊かな生徒

・たくましい生徒





深谷市立豊里中学校

所在地 〒366-0002 深谷市下手計 525 番地

TEL 587-2150 FAX 587-2153

校長 荻野 浩和

教頭 佐藤 秀昭

〔学校の現況〕 (令和2年5月1日現在)

校地面積	23,646 m ²	生徒数	157 人
校舎延面積	6,936 m ²	学級数	6 学級
運動場面積	11,000 m ²	教職員数	20 人

〔開校概要〕

○昭和 39 年 4 月 豊里村立豊里中学校開校

〔教育目標〕

- ・自ら進んで学習する生徒
- ・正しい判断力を持った生徒
- ・明るく思いやりのある生徒
- ・強くたくましい生徒



深谷市立南中学校

所在地 〒366-0818 深谷市萱場 320 番地

TEL 572-8373 FAX 572-9638

校長 向井 均

教頭 柴崎 勇二

〔学校の現況〕 (令和2年5月1日現在)

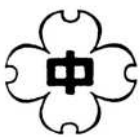
校地面積	38,642 m ²	生徒数	455 人
校舎延面積	7,542 m ²	学級数	12 学級
運動場面積	23,000 m ²	教職員数	31 人

〔開校概要〕

○昭和 58 年 4 月 深谷市立南中学校として開校

〔教育目標〕

- ・よく学び、よく習う (知)
- ・心を耕し、体を鍛える (徳・体)



深谷市立上柴中学校

所在地 〒366-0052 深谷市上柴町西 2 丁目 23 番地 1

TEL 573-7438 FAX 573-1206

校長 宮前 日出男

教頭 金子 宏

〔学校の現況〕 (令和2年5月1日現在)

校地面積	33,087 m ²	生徒数	532 人
校舎延面積	8,675 m ²	学級数	15 学級
運動場面積	18,692 m ²	教職員数	32 人

〔開校概要〕

○昭和 59 年 4 月 1 日 深谷市立上柴中学校として開校

〔教育目標〕

- 「夢・志の実現」
- ・自ら学ぶ生徒
- ・心豊かな生徒
- ・たくましい生徒





深谷市立岡部中学校

所在地 〒369-0217 深谷市山河 1214 番地

TEL 585-2623 FAX 585-6055

校長 森 田 豊

教頭 伊 藤 英 樹

〔学校の現況〕 (令和2年5月1日現在)

校地面積	38,958 m ²	生徒数	525 人
校舎延面積	8,845 m ²	学級数	15 学級
運動場面積	21,548 m ²	教職員数	35 人

〔開校概要〕

○昭和41年4月 岡部村立岡部中学校、榛沢中学校、本郷中学校を統合して岡部中学校として設置

〔教育目標〕

- ・志を持ち自ら学ぶ生徒
- ・豊かな心を持ち礼儀正しい生徒
- ・健康でねばり強く取り組む生徒



深谷市立川本中学校

所在地 〒369-1108 深谷市田中 530 番地

TEL 583-2014 FAX 583-3004

校長 持 田 栄

教頭 多 田 陽 一

〔学校の現況〕 (令和2年5月1日現在)

校地面積	45,980 m ²	生徒数	335 人
校舎延面積	7,398 m ²	学級数	9 学級
運動場面積	30,318 m ²	教職員数	25 人

〔開校概要〕

○昭和51年4月 川本村立川本中学校創立
川本中学校開校式(4月17日)

〔教育目標〕

- 自ら学ぶ意欲と豊かな心を持ち、
主体的に行動できるたくましい生徒の育成
- ・自主的で意欲的に学ぶ生徒
 - ・心豊かで思いやりのある生徒
 - ・健康でねばり強い生徒



深谷市立花園中学校

所在地 〒369-1246 深谷市小前田 1980 番地

TEL 584-0634 FAX 584-0635

校長 吉 野 雅 彦

教頭 林 徹

〔学校の現況〕 (令和2年5月1日現在)

校地面積	54,677 m ²	生徒数	365 人
校舎延面積	7,835 m ²	学級数	11 学級
運動場面積	15,004 m ²	教職員数	26 人

〔開校概要〕

○昭和22年4月 花園村立花園中学校創立

〔教育目標〕

- 真摯に学ぶ生徒
心を磨く生徒
体を鍛える生徒
- 立志・忠恕、あいさつ日本一の学校



7. 幼稚園教育

(1) 幼稚園概要

① 現 況

本市の幼稚園教育は歴史も古く、大正9年から深谷市立幼稚園の前身として創立され、その後幼稚園と小学校の一貫した教育を目指し、昭和54年までに10園が併設園として設置され、平成18年1月1日市町村合併により12園となる。

幼児期は、生涯にわたる人間形成の基礎を確立する最も大切な時期に当たることを重視し、就学前の幼児がスムーズに小学校生活に入れるようにするための基礎づくりを考慮している。更に保護者や地域のニーズに応じて、平成12年度から2年保育を段階的に実施し、平成16年度には全園で実施した。各園とも2年間の一貫性をもった教育課程の編成や、保・小・中学校との連携を図るなど、幼児期にふさわしい生活が展開されるよう工夫や努力をしている。(明戸幼稚園は、平成30年度から休園中)

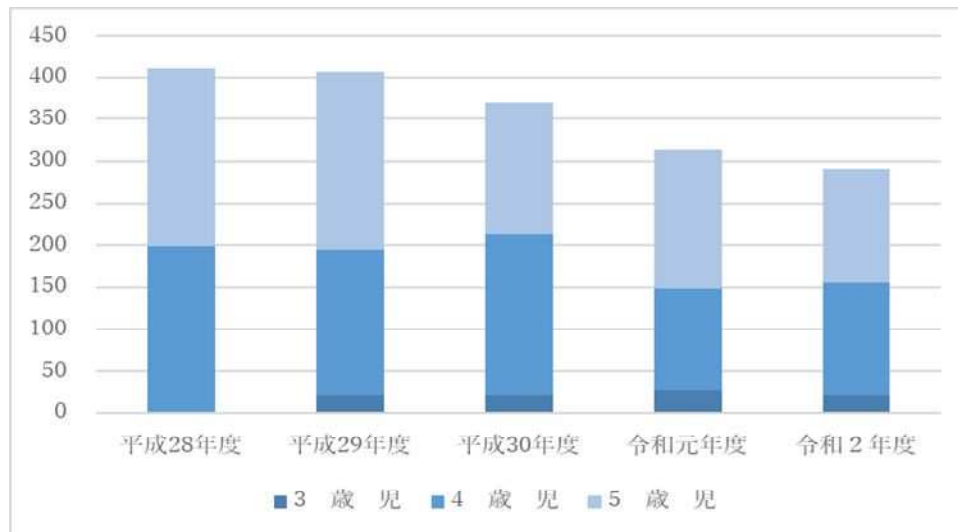
② 魅力ある幼稚園づくりの観点

- ・園長のリーダーシップの発揮と全職員の経営参加
- ・特色ある教育、創意工夫を生かした教育課程の編成
- ・学級経営の充実
- ・計画的な園内研修
- ・基本的な生活習慣の育成
- ・障害のある幼児の理解
- ・保・小・中学校や家庭・地域社会との積極的な連携



(2) 5年間の園児数の推移(各年5月1日現在)

(単位:人)



5歳児	211	211	157	165	134
4歳児	199	175	193	123	136
3歳児	—	20	20	26	20
合 計	410	406	370	314	290

(3) 5年間の教職員数の推移(各年5月1日現在)

年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
教職員数	58	62	59	59	51

(単位：人)

(4) 幼稚園紹介

深谷市立明戸幼稚園

所在地 〒366-0015 深谷市蓮沼 413 番地



[幼稚園の現況] (令和2年5月1日現在)

園地面積	2,632 m ²
園舎延面積	123 m ²
運動場面積	2,632 m ²

(平成30年度から休園中)

[沿革概要]

- ・昭和36年4月 明戸幼稚園として開園
- ・平成27年8月 明戸小学校校舎内に移転

深谷市立幡羅幼稚園

園長 宇野 澄 男

所在地 〒366-0042 深谷市東方町三丁目25番地1

TEL・FAX 571-2787



[幼稚園の現況] (令和2年5月1日現在)

園地面積	2,201 m ²	
園舎延面積	154 m ²	
運動場面積	2,201 m ²	
保育室	2室	職員室 1室
4歳児園児数	11人	学級数 1学級
5歳児園児数	8人	学級数 1学級
教職員数	5人	

[教育目標]

- ◎ひとりひとりを生かし、心豊かで
たくましい子どもを育成する
- ・元気に
 - ・自分の思うことが表現できる子
 - ・力いっぱい遊べる子
 - ・なかよく
 - ・友達の話聞くことができる子
 - ・やさしさや思いやりのある子
 - ・たくましく
 - ・じぶんの力でやろうとする子
 - ・最後までがんばる子

[沿革概要]

- ・昭和38年4月 深谷市立幡羅幼稚園として
小学校に付設開園、3組編成
- ・平成27年8月 幡羅小学校校舎内に移転
- ・平成30年4月 週5日の学校給食(幡羅小学校
自校給食)開始

深谷市立深谷幼稚園

園長 斉藤 実

所在地 〒366-0822 深谷市仲町19番2号

TEL・FAX 571-0948



[幼稚園の現況] (令和2年5月1日現在)

園地面積	2,521 m ²	
園舎延面積	542 m ²	
運動場面積	559 m ²	
保育室	3室	遊戯室 1室
教材室	1室	職員室(保健室含む) 1室
4歳児園児数	10人	学級数 1学級
5歳児園児数	13人	学級数 1学級
教職員数	4人	

[教育目標]

- ◎「夢と思いやりを育む」
- ・健康で生き生きした子
 - ・友だちと仲よく遊べる子
 - ・感じたこと考えたことをのびのび表現できる子
 - ・自然に親しみ進んで物事に取り組む子

[沿革概要]

- ・大正9年6月 二葉幼稚園創立、深谷町に移管、
深谷町立深谷幼稚園と称す
- ・昭和61年3月 新園舎完成

深谷市立桜ヶ丘幼稚園

園 長 大 澤 誠 一

所在地 〒366-0801 深谷市上野台 508 番地

TEL・FAX 571-2788



〔幼稚園の現況〕 (令和2年5月1日現在)

園 地 面 積	3,109 m ²	
園 舎 延 面 積	676 m ²	
運 動 場 面 積	935 m ²	
保 育 室	4 室	学童保育室 1 室
職 員 室	1 室	
4 歳児園児数	16 人	学級数 1 学級
5 歳児園児数	11 人	学級数 1 学級
教 職 員 数	6 人	

〔教育目標〕

- ◎腰骨を立て、意欲的に生き生きと活動できる子どもを育てる
- ・明るくのびのびと遊べる子
- ・友だちとなかよくできる子
- ・遊びや仕事に最後まで取組める子

〔沿革概要〕

- ・昭和 38 年 4 月 深谷市立桜ヶ丘幼稚園開園
- ・平成 14 年 園舎・学童保育室完成

深谷市立藤沢幼稚園

園 長 鴻 野 年 伸

所在地 〒366-0811 深谷市人見 1625 番地

TEL・FAX 571-5600



〔幼稚園の現況〕 (令和2年5月1日現在)

園 地 面 積	3,343 m ²	
園 舎 延 面 積	362 m ²	
運 動 場 面 積	816 m ²	
保 育 室	2 室	
遊 戯 室	1 室	職員室 1 室
4 歳児園児数	9 人	学級数 1 学級
5 歳児園児数	8 人	学級数 1 学級
教 職 員 数	5 人	

〔教育目標〕

- ◎なかよく 遊びをとおして友達をいっぱいづくり、
- ◎かしこく ルールを学べる幼児を育てる
- ◎たくましく

〔沿革概要〕

- ・昭和 35 年 4 月 藤沢幼稚園として設立
- ・平成 28 年 1 月 新園舎完成

深谷市立深谷西幼稚園

園 長 今 井 和 美

所在地 〒366-0827 深谷市栄町 14 番 19 号

TEL・FAX 571-2786



〔幼稚園の現況〕 (令和2年5月1日現在)

園 地 面 積	3,052 m ²	
園 舎 延 面 積	428 m ²	
運 動 場 面 積	2,008 m ²	
保 育 室	2 室	遊戯室 1 室
学 童 保 育 室	1 室	
4 歳児園児数	10 人	学級数 1 学級
5 歳児園児数	21 人	学級数 1 学級
教 職 員 数	5 人	

〔教育目標〕

- ・げんきな子
- ・やさしい子
- ・やりぬく子

〔沿革概要〕

- ・昭和 41 年 4 月 園舎落成並びに開園式挙げる
- ・平成 6 年 3 月 園舎落成

深谷市立常盤幼稚園

所在地 〒366-0034 深谷市常盤町 58 番地 2

TEL・FAX 573-2558

園 長 河 田 重 三



〔沿革概要〕

- ・昭和 49 年 9 月 常盤幼稚園開園
- ・平成 28 年 1 月 新園舎完成

〔幼稚園の現況〕

園 地 面 積 954 m²
園 舎 延 面 積 332 m²
運 動 場 面 積 350 m²
保 育 室 2 室
4 歳児園児数 22 人
5 歳児園児数 21 人
教 職 員 数 6 人

(令和 2 年 5 月 1 日現在)

職員室 1 室
リズム室 1 室
学級数 1 学級
学級数 1 学級

〔教育目標〕

◎健康な体と豊かな心の育成

- ・元気な子
- ・思いやりのある子
- ・よく考える子
- ・3つの基本行動の浸透と小学校教育への円滑な接続

深谷市立上柴西幼稚園

所在地 〒366-0052 深谷市上柴町西 5 丁目 18 番地 5

TEL・FAX 573-5240

園 長 栗 田 敦



〔沿革概要〕

- ・昭和 54 年 4 月 深谷市立上柴西幼稚園として上柴西小学校内に開園
- ・昭和 55 年 2 月 園舎完成

〔幼稚園の現況〕

園 地 面 積 2,690 m²
園 舎 延 面 積 664 m²
運 動 場 面 積 1,500 m²
保 育 室 6 室
4 歳児園児数 19 人
5 歳児園児数 20 人
教 職 員 数 6 人

(令和 2 年 5 月 1 日現在)

職員室 1 室
学級数 1 学級
学級数 1 学級

〔教育目標〕

◎あかるく やさしく たくましく

<目指す幼児像>

- ・創意工夫し、物事に意欲的に取り組む子
- ・心豊かで、人との関わりを進んで楽しむ子
- ・健康で生き生きと活動する子
- ・あいさつ・返事・ありがとうが進んで言える子

深谷市立おかべ幼稚園

所在地 〒369-0217 深谷市山河 1382 番地

TEL 585-4190 FAX 585-4240

園 長 松 村 郁 己



〔沿革概要〕

- ・平成 17 年 4 年 岡部町立幼稚園 4 園を廃園し、みらい幼児園おかべとの幼保一体の施設として岡部町立おかべ幼稚園を開園する
- ・平成 18 年 1 月 合併により深谷市立おかべ幼稚園と改称

〔幼稚園の現況〕

園 地 面 積 3,075 m²
園 舎 延 面 積 507 m²
運 動 場 面 積 962 m²
保 育 室 3 室
3 歳児園児数 20 人
4 歳児園児数 30 人
5 歳児園児数 23 人
教 職 員 数 9 人

(令和 2 年 5 月 1 日現在)

小ホール 1 室
学級数 1 学級
学級数 1 学級
学級数 1 学級

〔教育目標〕

- ・心身ともに健康でたくましい子
- ・みんなと仲良くし、思いやりのある子
- ・意欲的に遊べる子
- ・楽しんで話し、聞ける子
- ・物事に感動し、豊かに表現できる子

深谷市立花園幼稚園

所在地 〒369-1246 深谷市小前田 1503 番地
TEL・FAX 584-1779

園 長 風 間 勉



〔沿革概要〕

- ・昭和 44 年 5 月 花園町立花園幼稚園として開園
- ・平成 18 年 1 月 合併により深谷市立花園幼稚園と改称する

〔幼稚園の現況〕 (令和 2 年 5 月 1 日現在)

園 地 面 積	3,771 m ²		
園 舎 延 面 積	847 m ²		
運 動 場 面 積	1,326 m ²	職員室	1 室
保 育 室	4 室	リズム室	1 室
4 歳児園児数	9 人	学級数	1 学級
5 歳児園児数	9 人	学級数	1 学級
教 職 員 数	5 人		

〔教育目標〕

- ・健康で明るい子
元気にあいさつをし、楽しく活動できる子
- ・きまりを守る子
人の話をしっかり聞き、約束が守れる子
- ・なかよく遊べる子
あいてを思いやり友だちとなかよく遊べる子

Ⅲ 社会教育

1. 深谷市の社会教育の概要

◆ 生涯学習と社会教育の振興

国際化や情報化、高齢社会による社会構造や環境の著しい変化に伴い、市民はライフサイクルの変化やライフステージに対応した学習機会の確保と提供を求めており、社会教育の果たす役割に大きな期待が寄せられている。

社会教育推進のためには、学習環境の整備充実・拡大が重要であり、このことは生涯にわたる学習機会の提供につながるものである。

また、ものの豊かさから心の豊かさへと人々の関心が移行する中で、市民の文化・芸術活動に対する意識は年々高まっており、文化財においても、史跡などの保存・整備、民俗資料や古文書の調査・収集、無形文化財の後継者の育成など、多くの関心が寄せられている。

ゆとりや潤いのある文化的環境を求める市民に応えるために、文化意識や郷土意識の高揚を図ることが必要であり、また、時代に即した学習環境の整備と豊かな市民文化を育てるため、市民の生涯にわたる多様な学習機会をつくり、「次代を担う人と文化をはぐくむまちの創造」を推進する。



2. 重点施策

(1) 家庭・地域・学校の連携による教育力の向上

① 家庭の教育力向上に向けた支援

- ◆ 家庭教育の学習機会として、公民館での家庭教育学級を実施し、家庭における教育力の向上を図る。また、小・中学校の親同士のコミュニティや地域家庭教育の支援事業として、「親の学習」の推進を図る。
- ◆ 基本的な生活習慣や倫理観、自制心や自立心などを身に付けさせることができる家庭づくりを目指して、家庭教育の支援に努める。またボランティア活動を通じての社会参加や、地域ぐるみの教育活動を支援していく。

② 家庭・地域・学校が協力する教育体制の整備

- ◆ 学校と連携し、子どもたちの安全・安心な活動拠点を設け、地域の人々の参画を得て、子どもの学習支援を図る。また、地域住民と子供たちとの世代間交流を図ることにより、地域とつながりをもった家庭教育の支援をしていく。
- ◆ 文化・教養的事業などにより地域活動への参加促進を図るとともに、PTA 活動に対する支援等を行い、学校教育と社会教育の連携・強化を図る。
- ◆ 各種事業の展開を図る中でボランティア意識の高揚を図り、社会参加活動を促進する。

(2) 生涯学習の推進

① 市民のニーズに応える生涯学習の支援

- ◆ 生涯学習を推進するための計画の立案や社会教育における問題の把握・提言等を行うため、社会教育委員をはじめ、生涯学習の推進に係る体制整備を図る。
- ◆ 各種社会教育指導者の養成や確保を図り、人材の確保・拡大に努める。
- ◆ 公民館・図書館などの社会教育施設の相互の連携を強化する。
- ◆ 市民大学を実施し、郷土深谷を学ぶ機会や現在の社会における課題に対する学習の機会の充実を図る。
- ◆ 生涯学習センターや各地区公民館における、各種学級・講座の一層の充実を図ることにより、知識の習得と地域コミュニティの向上を図る。
- ◆ 学校や家庭では得られないような社会体験や自然体験などの活動機会を提供するため、埼玉県教育委員会、地元のNPO（特定非営利活動法人）や大学と連携し「子ども大学ふかや」などを推進する。

② 生涯学習施設の整備・充実

- ◆ 既設の生涯学習センター・公民館など社会教育施設の有効活用を図りながら、整備と機能の充実に努める。また、川本公民館の整備を推進する。

③ 図書館の整備・充実

- ◆ 市民の教養、調査、娯楽等に資するため、図書館資料の収集、整理、保存に努めるとともに、県立図書館などとの緊密な相互協力を図ることにより、図書館事業の充実・拡充を図る。



(3) 郷土の歴史・文化の継承と活用

① 深谷が誇る歴史・文化の保存・継承と活用

- ◆ 市内に所在する各種文化財に関する基礎調査を実施し、適切な保存策を講じ、その活用を図る。また、史跡や建造物などの文化財の整備を図るとともに、その歴史的景観の保存に努める。
- ◆ 市内で実施される各種開発行為に対して、所在する埋蔵文化財の保護のため、発掘調査などの記録保存を図るとともに、重要な遺構・遺物が発見された場合には、その保護措置を講ずる。
- ◆ 市内に残る伝統芸能について、各保持団体の後継者育成や発表・公演活動に関して支援を行うとともに、市民に対して活動内容を広報する。
- ◆ 各種文化財を利用した展示活動や小冊子の発行などを通じて、市内の文化財に関する情報の提供を図り、市民の文化財保護意識の高揚に努める。同時に学校教育との連携を図り、学童の文化財保護意識の高揚にも努める。

② 市民が行う文化芸術活動の支援

- ◆ 優れた芸術活動の推進や文化事業などを開催し、文化を大切にする心を育てるとともに、文化・芸術活動の充実を図り、文化・芸術水準の向上を目指す。
- ◆ 地域の特色を生かした文化活動を公民館や文化会館などの公共施設などにおいて幅広く推進する。
- ◆ 文化団体の発表や交流を進めるとともに、指導者の資質の向上と育成に努める。
- ◆ 優れた美術品の収蔵や展示公開を図り、市民への芸術活動の奨励に努める。
- ◆ 先人の調査・研究を進め郷土意識の高揚を図る。先人の遺徳を顕彰する。

3. 渋沢栄一記念館・公民館・文化会館紹介

(1) 渋沢栄一記念館

渋沢栄一記念館

館 長 澁 澤 武 雄

所在地 〒366-0002 深谷市下手計 1204 番地

TEL 587-1100 FAX 587-1101



1. 現 況

敷地面積	4,254.83 ㎡
建物延面積	2,232.75 ㎡
構 造	鉄筋コンクリート鉄骨造 2 階建
竣 工	平成 7 年 11 月
開 設 年 月	平成 7 年 11 月

2. 運営方針

深谷市教育委員会重点施策に基づき、渋沢栄一記念館の体制を整備するとともに、展示内容の充実を検討し、情報の収集と発信に努めるため、次の事項を重点的に推進する。

- ・ 渋沢栄一翁の顕彰の推進
- ・ 常設展示や企画展示の開催
- ・ 渋沢栄一関連資料や情報の収集
- ・ 作品解説や観光案内など来場者の受入体制の充実
- ・ 八基地区内「論語の里」の中核施設として団体との協働事業によるにぎわいの創出
- ・ 旧渋沢邸「中の家」および「尾高惇忠生家」の管理運営

(2) 公民館

深谷市深谷生涯学習センター・深谷公民館

所在地 〒366-0822 深谷市仲町 20 番 2 号

TEL 571-0506 FAX 574-8487

館 長 花 岡 慎

副館長 高 田 一 幸

副館長 内 田 研



公民館運営審議会委員	15 人
体 育 部 員	31 人
教 養 部 員	15 人

1. 現 況

敷 地 面 積	5,449.72 m ²
建物延面積	2,644.22 m ²
構 造	鉄筋コンクリート造 2 階建 (一部鉄骨構造)
竣 工	平成18年 3 月
開 設 年 月	昭和22年 9 月
管 内 人 口	17,552 人
管内世帯数	7,834 世帯

2. 運営方針

「元気と笑顔の生産地 ふかや」を目指す深谷市の将来都市像に基づいて、健康で人間性豊かな市民の育成と心の通いあう文化の香り高いまちづくりを推進し、地域生活の向上と生活文化の向上、地域連帯の強化に努める。

- ・豊かな心と、高い知性を育む。
- ・道徳心を養い、誠実な人間性を育む。
- ・郷土を愛する心と、地域の連帯を育てる。
- ・伝統を生かし、香り高い文化を育てる。

深谷市藤沢生涯学習センター・藤沢公民館

所在地 〒366-0811 深谷市人見1967番地 1

TEL 571-0345 FAX 574-5862

館 長 持 田 淳

副館長 島 田 康 司

副館長 堀 越 寿 子



公民館運営審議会委員	14 人
体 育 部 員	55 人
教 養 部 員	46 人

1. 現 況

敷 地 面 積	9,867.17 m ²
建物延面積	2,581.76 m ²
構 造	鉄筋コンクリート鉄骨造 2 階建
竣 工	平成15年 3 月
開 設 年 月	昭和29年 4 月
管 内 人 口	10,266 人
管内世帯数	4,107 世帯

2. 運営方針

個性と生きがいを育む教育・文化の環境づくりを推進するため、地域住民の生涯学習とコミュニティづくりの中心施設として、次の項目を重点に各種の事業を展開し、公民館の社会的使命を果たすように努める。

- ・生涯学習機会の提供と啓発に関する事業
- ・青少年の学習と活動に関する事業
- ・女性の学習と活動に関する事業
- ・高齢化社会に対応する事業
- ・人権尊重意識の高揚に関する事業
- ・自治能力の向上に関する事業
- ・健康の増進と生涯スポーツの推進に関する事業
- ・脱いだ靴をそろえる運動、あいさつ先手運動及びことばを大切にする運動の実践、推進に関する事業

深谷市幡羅生涯学習センター・幡羅公民館

所在地 〒366-0041 深谷市東方1370番地

TEL 575-1411 FAX 575-1441

館長 武田直樹

副館長 武政朔二

副館長 武田宗男



1. 現況

敷地面積	15,224.34 m ²
建物延面積	2,727.42 m ²
構造	鉄筋コンクリート・鉄骨造2階建
竣工	平成7年1月
開設年月	昭和29年12月
管内人口	19,715人
管内世帯数	8,241世帯

2. 運営方針

社会教育法第20条の主旨に基づき、その実現に努力し、深谷市教育委員会の社会教育重点施策を受けながら同時に深谷市公民館条例及び同施行規則を守り、諸事を遂行する。

- ・親しまれる公民館の運営
- ・地域住民の生涯学習への関心を高め、時代に即応した生涯学習の推進
- ・地域の教育文化の向上、スポーツの振興
- ・3つの運動（脱いだ靴をそろえる・ことばを大切にすること・すすんであいさつをする）の推進
- ・地域住民の連帯意識、郷土愛の高揚
- ・住民の人権教育に対する正しい理解と認識を深め、思いやり、助け合いの啓発

公民館運営審議会委員	14人
体育部員	22人
文化教養部員	22人

深谷市明戸生涯学習センター・明戸公民館

所在地 〒366-0015 深谷市蓮沼256番地

TEL 571-0872 FAX 574-5864

館長 田村千秋

副館長 正田久

副館長 小林多喜男



1. 現況

敷地面積	6,103.65 m ²
建物延面積	2,179.74 m ²
構造	鉄筋コンクリート造2階建（一部鉄骨造）
竣工	平成19年12月
開設年月	昭和29年7月
管内人口	4,424人
管内世帯数	1,839世帯

2. 運営方針

深谷市教育委員会の社会教育重点施策を受けて、明戸地区の実情に即した施策を行うため、関係機関・団体との連携を密にし、地域住民のニーズを的確に把握し、住民が自主的・積極的に参加できる事業の実施に努める。また、地域住民に親しまれ、生涯学習、地域振興の拠点となる公民館を目指す。

- ・生涯学習の推進
- ・人権を尊重する教育の推進
- ・健康増進と生涯スポーツの推進
- ・地域住民の連帯感を深め、地域づくり活動の推進

公民館運営審議会委員	15人
体育部員	15人
文化部員	15人

深谷市大寄公民館

所在地 〒366-0837 深谷市起会84番地 1
TEL 571-0341 FAX 574-5865

館 長 穠 山 光 昌
副館長 井 田 三喜男
副館長 小 林 悟



公民館運営審議会委員	15 人
体 育 部 員	12 人
文 化 教 養 部 員	23 人

1. 現 況

敷地面積	7,172.75 m ²
建物延面積	1,567.81 m ²
構 造	鉄筋コンクリート造 2 階建
竣 工	平成11年 8 月
開 設 年 月	昭和26年10月
管 内 人 口	3,220 人
管内世帯数	1,277 世帯

2. 運営方針

大寄地域住民が郷土に対しての想いを更に高め、他に誇れるふるさとづくりに専念できるよう、また、生涯学習や地域活性化等の事業推進拠点として、地域住民に親しまれる公民館運営に努める。

- ・生涯学習の推進
- ・人権を尊重する教育と心豊かな人づくりの推進
- ・健康増進と生涯にわたるスポーツ・レクリエーションの推進
- ・3つの運動（脱いだ靴をそろえよう・すすんであいさつをしよう・ことばを大切にしよう）の推進

深谷市八基公民館

所在地 〒366-0002 深谷市下手計 1204 番地
TEL 598-7757 FAX 587-1101

館 長 澤 出 晃 越
副館長 岩 崎 和 男
副館長 塚 原 広 雄



公民館運営審議会委員	14 人
体 育 部 員	15 人
教 養 部 員	15 人

1. 現 況

敷地面積	4,254.83 m ²
建物延面積	2,232.75 m ²
構 造	鉄筋コンクリート鉄骨造 2 階建
竣 工	平成 7 年11月
開 設 年 月	昭和26年 4 月
管 内 人 口	3,555 人
管内世帯数	1,395 世帯

2. 運営方針

深谷市教育委員会重点施策を受けて、八基地区の実情に即した施策を行うため、学校及び関係機関、関係団体との連携を密にし、施策を立案するものとする。公民館運営においては住民が公民館活動に自主的・積極的、気軽に参加することが出来るような公民館の実現を目指し、次の事項を重点的に推進する。

- ・生涯学習の推進
- ・人権を尊重する教育と心豊かな人づくりの推進
- ・スポーツ・レクリエーション活動の振興
- ・家庭・地域の教育力の向上
- ・郷土の偉人 渋沢栄一翁の遺徳顕彰の促進

深谷市豊里公民館

所在地 〒366-0019 深谷市新戒639番地1

TEL 587-2111 FAX 587-1367

館長 塚原 陽一

副館長 塚越 喜文

副館長 古郡 精一



公民館運営審議会委員	14人
体育部員	23人
文化教養部員	18人

1. 現況

敷地面積	6,068.00 m ²
建物延面積	2,069.18 m ²
構造	鉄筋コンクリート造2階建
竣工	平成5年3月
開設年月	昭和62年6月
管内人口	4,060人
管内世帯数	1,610世帯

2. 運営方針

深谷市教育委員会の社会教育重点施策を受けて、豊里地区の実情に即した施策を行うため、学校及び関係機関・団体と連絡を密にし、住民が公民館活動に自主的・積極的に参加するよう呼びかけ、気軽に出入りすることのできるような公民館の実現を目指し、次の事項について重点的に推進する。

- ・生涯学習の推進
- ・人権教育の推進
- ・健康増進と生涯スポーツの推進
- ・あいさつ先手運動、脱いだ靴を揃える運動、ことばを大切にしよう運動の推進

深谷市上柴生涯学習センター・上柴公民館上柴地区複合施設(キララ上柴)

〒366-0052 深谷市上柴町西4丁目2番地14

TEL 572-9001 FAX 574-5868

館長 高橋 桂子

副館長 正田 金次

副館長 山口 富貴夫



公民館運営審議会委員	15人
体育部員	45人
文化部員	38人

1. 現況

敷地面積	10,544.36 m ²
建物延面積	1,910.78 m ² (共有部分を除く)
構造	鉄骨造3階建 (3階部分)
竣工	平成22年11月
開設年月	昭和57年6月
管内人口	19,241人
管内世帯数	8,683世帯

2. 運営方針

深谷市教育委員会の社会教育重点施策を受け、地区の実情に即した施策を行うために、関係機関及び学校や各種団体と連絡を密にし、地域住民のニーズを的確に把握し、住民が自主的・積極的に参加できる事業の実施に努める。また、地域住民に親しまれ、生涯学習、地域振興の拠点となる公民館を目指す。

- ・生涯学習の推進
- ・人権教育の推進
- ・健康増進と生涯スポーツの推進
- ・地域住民の連帯感を深め、地域づくり活動の推進

深谷市南公民館

所在地 〒366-0810 深谷市宿根 645 番地 1
TEL 575-5550 FAX 575-5560

館 長 保 泉 雅 良
副館長 首 藤 紀 人
副館長 最 上 猛 夫



公民館運営審議会委員 15 人
体 育 部 員 26 人
文 化 教 養 部 員 26 人

1. 現 況
- | | |
|---------|-------------------------|
| 敷地面積 | 7,920.00 m ² |
| 建物延面積 | 2,265.49 m ² |
| 構 造 | 鉄筋コンクリート造 2 階建 |
| 竣 工 | 平成10年10月 |
| 開 設 年 月 | 平成10年10月 |
| 管 内 人 口 | 17,456 人 |
| 管内世帯数 | 7,556 世帯 |

2. 運営方針
- 深谷市教育委員会の社会教育重点施策を受け、南地区の実情に即した施策を行うために、関係機関及び学校や各種団体と連絡を密にし、地域住民の公民館活動への積極的な参加を呼びかけ、世代間交流の場とし、公民館と地域住民が一体となって開かれた公民館づくりを目指した運営を図る。
- ・花を活かした地域づくり
 - ・生涯学習の推進
 - ・人権を尊重する教育の推進
 - ・地域の連帯意識の醸成・郷土愛の高揚
 - ・健康増進と生涯スポーツの推進
 - ・青少年の健全育成の推進

深谷市岡部生涯学習センター・岡部公民館

所在地 〒369-0203 深谷市普済寺 1626 番地 3
TEL 585-4974 FAX 585-4890

館 長 宮 本 直 樹
副館長 塚 田 勝
副館長 新 井 廣 志



公民館運営審議会委員 14 人
体 育 部 員 64 人
教 養 部 員 38 人

1. 現 況
- | | |
|---------|--------------------------|
| 敷地面積 | 12,831.19 m ² |
| 建物延面積 | 3,126.23 m ² |
| 構 造 | 鉄骨造 一部鉄筋コンクリート造 2 階建て |
| 竣 工 | 令和元年 10 月 |
| 開 設 年 月 | 令和元年 10 月 |
| 管 内 人 口 | 18,290 人 |
| 管内世帯数 | 7,486 世帯 |

2. 運営方針
- 深谷市教育委員会の社会教育重点施策を受けて、住みよい地域づくりを推進するため、関係機関・団体と連絡を密にし、生涯学習活動の地域拠点施設として、地域住民に親しまれ支えられる公民館を目指し、その実現のため地域ぐるみの社会教育活動を推進する。
- ・教養情操的事業の推進
 - ・体育・レクリエーション事業の推進
 - ・家庭教育事業の推進

深谷市川本公民館

所在地 〒369-1104 深谷市菅沼1009番地
TEL 583-3234 FAX 583-3267

館 長 飯 塚 勤
副館長 本 田 壽
副館長 馬 場 かほる



公民館運営審議会委員 15 人
体 育 部 員 42 人
教 養 部 員 42 人

1. 現 況

敷地面積 10,372.46 m²
建物延面積 2,258.64 m²
構 造 鉄筋・鉄骨コンクリート造2階建
竣 工 昭和59年3月
開設年月 昭和59年9月
管内人口 11,854 人
管内世帯数 4,772 世帯

2. 運営方針

本市の将来都市像「元気と笑顔の生産地 ふかや」に基づいて健康で心豊かな市民の育成と文化の香り高いまちづくりを推進し、生活文化の向上、地域連帯感の強化に努める。

- ・生涯学習の推進
- ・地域住民との連携・郷土愛の醸成
- ・健康増進と生涯スポーツの推進
- ・青少年健全育成の推進
- ・人権教育の推進

深谷市花園生涯学習センター・花園公民館

所在地 〒369-1246 深谷市小前田 2345 番地 1
TEL 584-2184 FAX 584-2394

館 長 持 田 豊
副館長 横 澤 芳 一



公民館運営審議会委員 15 人
体 育 部 員 37 人
教 養 部 員 33 人

1. 現 況

敷地面積 9,265.82 m²
建物延面積 2,727.92 m²
構 造 鉄筋コンクリート造
一部鉄骨造 2階建
竣 工 平成25年12月
開設年月 昭和31年9月
管内人口 13,299 人
管内世帯数 5,448 世帯

2. 運営方針

地域住民の出会いの場・ふれあいの場・学びの場として、地域づくりや生涯学習の拠点として、特色のある地域づくりや地域コミュニティを推進するため、関係する各種団体等との連携を図りながら、次の項目を重点に各種事業を展開していきます。

- ・生涯学習事業の充実
(生涯学習の推進、学習機会の提供、学習効果の還元)
- ・地域住民との連携
(利用者団体、自治会やボランティアとの連携した事業の協働運営)
- ・人権を尊重する心豊かな人づくりの推進
(人権意識の高揚)
- ・家庭・学校・地域の連携を強化、及び青少年健全育成活動の充実
(教育学級の充実、さまざまな活動の機会と場の提供、子どもを育てる地域づくりの支援)
- ・広報活動等の充実
(広報活動の積極的な推進、学習情報の提供)

(3) 文化会館

深谷市民文化会館

所在地 〒366-0823 深谷市本住町 17 番 1 号

TEL 573-8765 FAX 573-8769



1. 現 況	
敷地面積	13,987.5 m ²
建物延面積	6,061.31 m ²
竣 工	昭和56年 9 月
開 館	昭和56年11月
大 ホ ー ル	1,164 席 (固定席1,018席、移動席 146席) (車椅子スペース 4 席、母子席 6 席)
小 ホ ー ル	324 席 (固定席のみ、車椅子スペース 4 席)
楽 屋	大ホール 5 室 小ホール 2 室
リハーサル室	1 室 (63 m ²)
練 習 室	3 室 (第1 79 m ² 、第2 56 m ² 、第3 35 m ²)
展 示 室	1 室 (239 m ²)

深谷市花園文化会館 アドニス

所在地 〒369-1246 深谷市小前田 2966 番地

TEL 584-6125 FAX 584-6128



1. 現 況	
敷地面積	12,316.00 m ²
建物延面積	2,440.20 m ²
竣 工	平成 4 年 8 月
開 館	平成 4 年 10 月
大 ホ ー ル	716 席 (固定席711席、車椅子スペース3席、母子室2席)
集会室 1・2	1 室 (約 200 人収容 207 m ²)
楽 屋	2 室
談 話 室	1 室 (約 20 人収容 16 畳)
ボランティアビューロー	1 室 (12 人収容 24 m ²)

4. 令和2年度推進事業一覧（公民館事業を含む）

教養・情操的事業	パソコン教室、着付け教室、囲碁・将棋教室、オカリナコンサート、手打ちそば教室、手づくり味噌講座、人権問題研修会、人権問題講座、木工教室、料理教室、いきいき長寿の集い、手工芸教室、ガーデニング教室、高齢者健康教室、健康教室、女性健康教室、お月見コンサート、女性料理教室、蛍の観賞会、しめ縄飾り教室、フラワーアレンジメント教室、新春お茶会、ふかや市民大学、子ども大学ふかや、福寿草大学、いきいきコミュニティカレッジ、しめ縄飾りづくり、キムチ作り教室、民踊教室、絵手紙教室、ハーバリウム教室、日本茶教室、茶道講座、中庭コンサート、スマホ安全教室、美味しいコーヒーの淹れ方、こんにゃく教室、男の料理教室、おもしろ科学教室、バルーンアート教室、幸齢者学級 ホタルの観賞会 等
芸術・文化的事業	深谷市美術展、合同県外研修、渋沢栄一翁史跡めぐり、歴史めぐり、文化祭、ミニアートギャラリー展、歴史講座、文化芸術による子供の育成事業、企画展覧会、優秀映画鑑賞推進事業、美術品収蔵事業、土器作り教室、どつき土器歴史教室、畠山重忠顕彰事業、文化財展示事業、史跡特別公開、史跡めぐり、文化遺産コンサート等、歴史探訪、あさがお展、菊花展、美術盆栽展、さつき展、フウリン草展、青淵翁を偲ぶ「にぼうと会」、新春趣味の作品展 等
体育・レクリエーション事業	フェイシャルヨガ教室、地区市民体育祭、分館対抗野球大会、分館対抗ソフトボール大会、分館対抗グラウンド・ゴルフ大会、分館対抗バレーボール大会、分館対抗鴨んバレーボール大会、マグダーツ大会、世代間交流輪投げ大会、ゲートボール大会、少年野球大会、少年少女サッカーの集い、シルバーゼミナール、綱引き大会、歩け歩け大会、高齢者スポーツ大会、ふれあいハイキング、ローンボウルズ教室、公民館まつり、芸能祭、敬老会、文化祭、文連祭、納涼祭、三世代交流事業、健康ストレッチ教室、ふかやシティハーフマラソン、みんなのふれあい祭り、スポーツ吹矢教室、少年少女マラソン大会、フィットネスウォーキング教室、綱引き大会、卓球大会 等
家庭教育・青少年健全育成事業	夏休み子ども映画会、生物研究学習、家庭教育学級、科学体験、夏休み子供お楽しみ会、親子バスハイク、もちつき会、子ども教室、昔の遊び教室、ふるさと子供祭り、七夕祭り、キッズサイエンス教室、小学生書道展、こども絵画展、中学生作品展、親の学習、夏宿〜ル・オアシス、がんばる〜ム、七夕飾りコンクール、青少年健全育成標語コンクール、子育て講演会、子ども体験バスツアー、子ども安全・安心パトロール、靴を揃える運動、あいさつ先手運動、ことばを大切にしよう運動、親子体操教室、マスのつかみ取り大会、青少年学級、子育てサロン、親子木工教室、親子そば打ち教室、サケ放流、サケ卵配布、青少年健全育成講演会、ポスター展、親子料理教室、十日夜、まゆ玉作り、夏休みわんぱくランド、小学生絵画展、子ども郷土かるた大会 等
その他事業	明るい選挙話し合い講座、公民館利用調整会議、花の郵便屋さん、公民館等花壇植栽除草作業、公民館運営審議委員会、公民館だより、事業所訪問、公民館の花植え、防犯パトロール、公民館一斉清掃 等



(1) 令和元年度事業別状況

(単位：人)

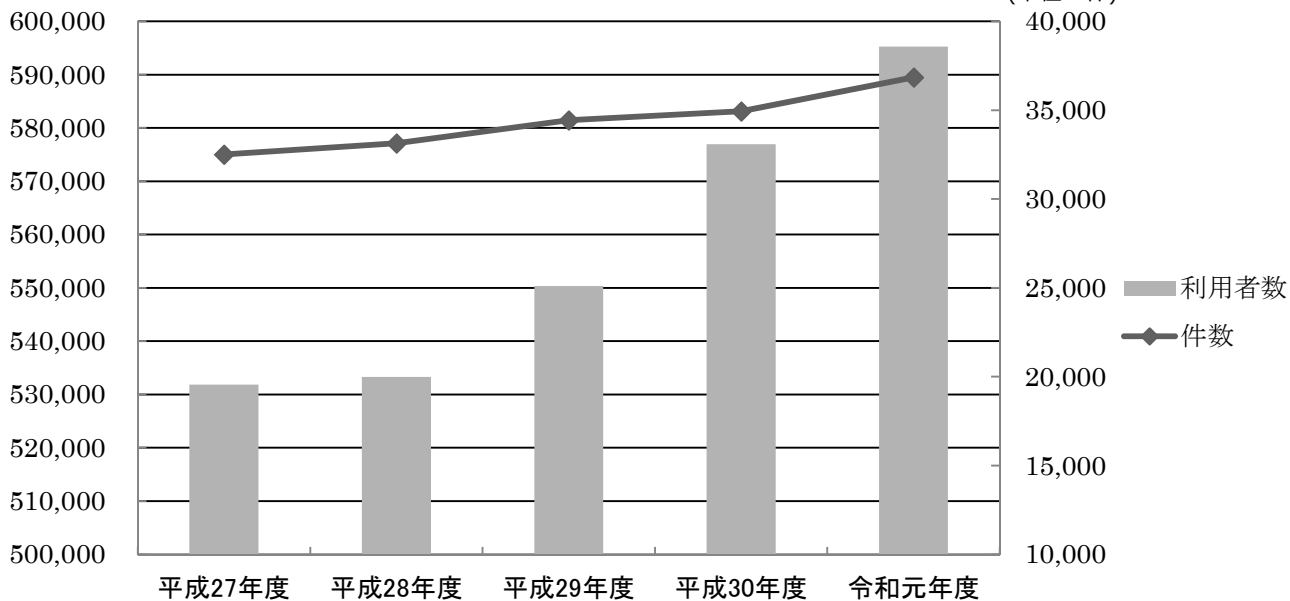
区 分	生涯学習スポーツ振興課 文化振興課・渋沢栄一記念館		公 民 館		合 計	
	参 加 者 数	延 人 数	参 加 者 数	延 人 数	参 加 者 数	延 人 数
教 養 ・ 情 操 的 業 事	129	1,673	12,950	20,484	13,079	22,157
芸 術 ・ 文 化 的 業 事	4,162	4,217	6,022	6,022	10,184	10,239
体育・レクリエーション事業	5,285	5,285	44,855	44,934	50,140	50,219
家庭教育・青少年健全育成事業	2,646	15,114	8,238	8,381	10,884	23,495
文化財保護事業	126,933	126,933	-	-	126,933	126,933
文化財施設見学 (中の家・誠之堂・清風亭等)	96,313	96,313	-	-	96,313	96,313
渋沢栄一記念館見学	113,627	113,627	-	-	113,627	113,627
そ の 他			37,033	37,479	37,033	37,479
合 計	349,095	363,162	109,098	117,300	458,193	480,462

(2) 利用状況

① 年度別生涯学習センター、公民館利用の推移

(単位：人)

(単位：件)



件 数 (件)	33,138	34,447	34,935	36,486	36,847
利用者数 (人)	533,313	550,325	576,945	584,992	595,247

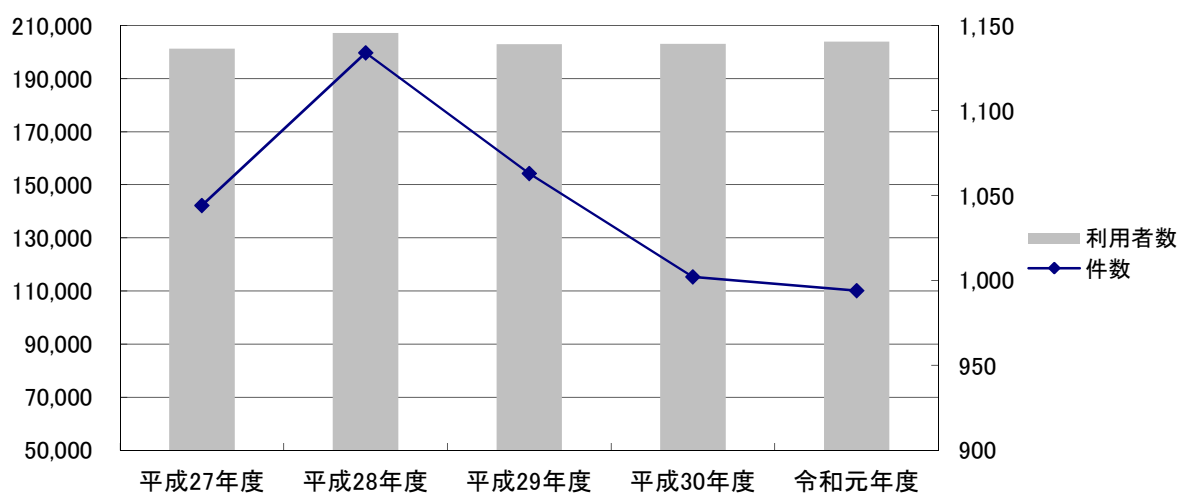
② 令和元年度公民館別利用状況

	深谷 公民館	藤沢 公民館	幡羅 公民館	明戸 公民館	大寄 公民館	八基 公民館
件数(件)	5,596	3,589	4,759	1,810	1,994	1,662
利用者数(人)	100,031	52,230	62,479	31,827	21,947	27,139
	豊里 公民館	上柴 公民館	南 公民館	岡部 公民館	川本 公民館	花園 公民館
件数(件)	1,279	5,233	3,604	2,897	1,512	2,912
利用者数(人)	23,347	79,903	56,819	50,428	34,611	54,486

③ 年度別文化会館利用状況（市民文化会館）

(単位：人)

(単位：件)

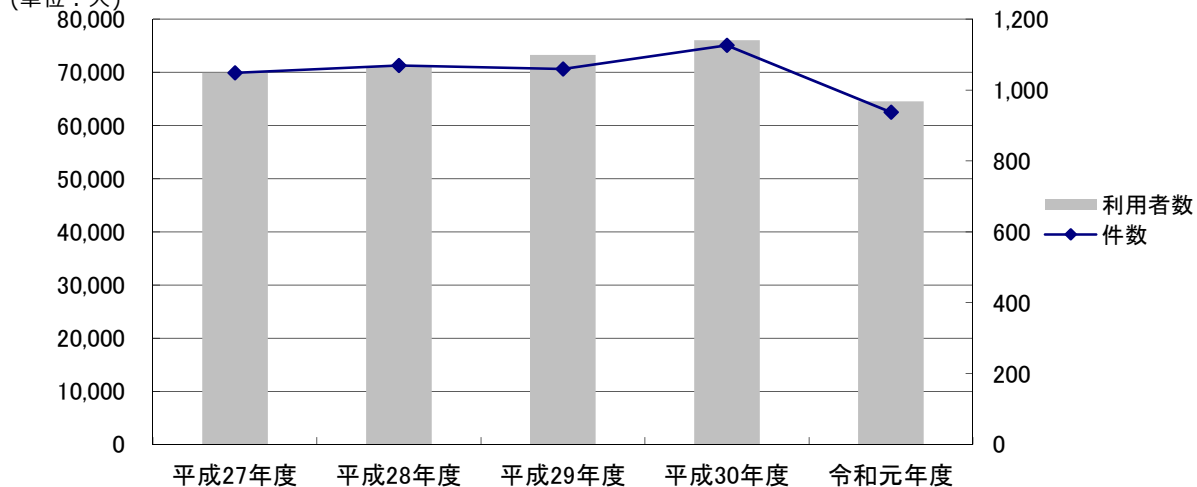


件数(件)	1,044	1,134	1,063	1,002	994
利用者数(人)	201,302	207,179	203,020	203,157	203,948

④ 年度別文化会館利用状況（花園文化会館アドニス）

(単位：人)

(単位：件)



件数(件)	1,049	1,069	1,059	1,126	937
利用者数(人)	69,904	71,137	73,272	76,049	64,572

5. 重要文化財など

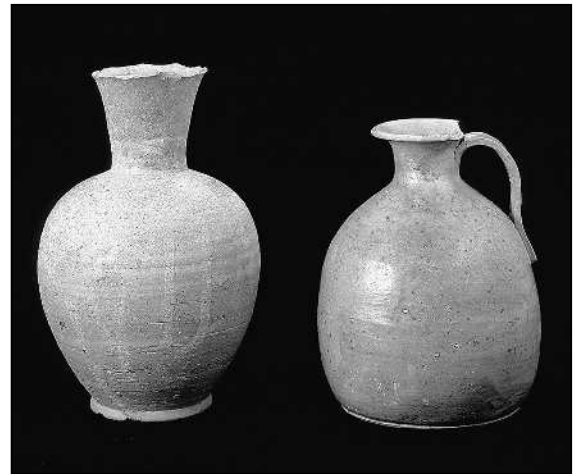
①緑釉手付瓶 附 灰釉瓶

榛沢地区の西浦北遺跡4号住居跡から出土した緑釉手付瓶は、並んで発見された灰釉瓶とともに昭和61年6月に国の重要文化財に指定された。

緑釉手付瓶とは、窯入れされ、熱を受けると緑色に変化する釉薬が塗られた焼き物で、把手が付いていることが大きな特徴と言える。完形品としては全国的にみても数少ない例である。

緑釉手付瓶の製作地は、古代の窯跡として名高い尾張国猿投窯（愛知県名古屋市）であり、製作された年代は、9世紀後半と考えられる。

東京国立博物館（平成館）に貸し出されている。



灰釉瓶

緑釉手付瓶

②日本煉瓦製造株式会社旧煉瓦製造施設

平成9年5月に、国の重要文化財に指定された日本煉瓦製造株式会社旧煉瓦製造施設は、旧事務所（日本煉瓦史料館）、ホフマン輪窯6号窯、旧変電室、備前渠鉄橋からなっている。

県内の重要文化財建造物としては21件目。近代化遺産の重要文化財としては、全国で5件目。県内では初めてである。

日本煉瓦製造株式会社旧煉瓦製造施設には、煉瓦焼成のための優れた構造を有したホフマン輪窯を中心として、工場の周辺建造物および日本最初の専用鉄道施設がそろって残る。この工場で作られた煉瓦は、東京駅をはじめとする東京の主要な建築に用いられたことが分かっており、本施設は、我が国の近代化の礎をなした施設として重要である。特に6号窯は、現在国内に残る数少ないホフマン輪窯のうちで最も規模が大きく代表的なものとして価値が認められる。

◆日本煉瓦製造株式会社設立の経緯

日本煉瓦製造株式会社（当時日本煉瓦製造会社）が創立された当時、明治政府は、諸外国と結んだ不平等条約を改正するため、帝国議会の開設が急務となっていた。

そのためには国会議事堂をはじめとする洋風官庁街の建設が必要であり、明治政府は、明治19年に臨時建築局を設立して日比谷に諸官庁を集める「官庁集中計画」に踏み切った。日本煉瓦製造株式会社は、明治政府が必要とした大量の煉瓦を供給するために、渋沢栄一、池田栄亮、益田孝の3人が中心となって明治20年（1887）に設立した日本煉瓦製造会社に始まる。工場の建設場所は、ドイツ人建築技師ベックマンおよびドイツ人煉瓦技師チーゼラの指導のもとに行われた調査の結果、良質の原土を産出し、利根川と通じて東京への輸送が可能な土地として上敷免の地が選定された。

・旧事務所

旧事務所は、明治21年頃に建設、「異人館」と呼ばれていたように、ドイツ人技師ナスチェンテス・チーゼとその令嬢が明治22年にドイツに帰国するまで住宅兼事務所として使用していた。帰国後は会社の事務所、昭和53年からは史料館として活用。

簡素なデザインを備えており、明治初期の洋風建築の特色がよく表れている。



・ホフマン輪窯 6号窯

ホフマン輪窯 6号窯は、明治40年に建設。

昭和43年に操業を停止。その全体は、18の焼成室に分かれ、月産生産高65万個の煉瓦が製造されたという。



・旧変電室

旧変電室は、明治39年の電灯線の架設時に建設。屋根や窓など多少の改修はあったものの建設時と変わらない姿のまま保存されている。

・備前渠鉄橋

備前渠鉄橋は、明治28年に日本煉瓦専用線が備前渠を通るために架設された鉄橋である。橋の南側には、鉄橋の西側近傍で備前渠から分岐する水路を越えるための煉瓦アーチ橋が附属する。昭和58年に深谷市に寄附され、現在は遊歩道となりレールなどが取り払われているものの、往時の姿をよくとどめている。



③誠之堂（重要文化財）・清風亭（埼玉県指定有形文化財）

「誠之堂」は平成15年5月30日に国の重要文化財に指定され、また「清風亭」は平成16年3月23日に、埼玉県指定有形文化財に指定されている。これらの建物は、渋沢栄一により創設された日本初の銀行、「第一国立銀行」の後身である第一銀行（現みずほ銀行）が現在の東京都世田谷区に所有していた保養施設「清和園」の敷地内に建てられていた。

当時は、一般には公開されていなかったが、建築学者や建築関係者の間では、いずれの建物も、大正時代を代表する建築物として、日本の西洋建築史上、重要な位置を占める建築物として知られていた。

平成9年9月、これらの建物を取り壊しの危機に瀕したのをきっかけとして保存運動が起こった。ともに深谷市出身の渋沢栄一にゆかりのある建物であったことから、深谷市が譲り受けることとなった。

このような文化的価値の高い建物、特に煉瓦建造物の移築は、深谷市に限らず日本でも初めてといえる試みであったため、日本建築学界の第一人者である鈴木博之東京大学教授や藤谷陽悦日本大学助教授、日本建築家協会保存検討委員会委員長である兼松紘一郎氏（職名はいずれも当時）を迎えて、市関係者を交えた移築保存検討委員会を設置し、移築方法の検討を重ねた。

検討の結果、移築場所は、当時新築が計画されていた大寄公民館敷地内と決められた。移築・復原工事は、建築を行った「清水組」の後身である清水建設株式会社が担当し、日本建築に多く見られる「大ばらし」を応用する日本初の工法により、工事が実施された。

約2年間の移築・復原工事を経て、誠之堂・清風亭は平成11年11月11日に落成式を迎えた。

深谷市では、これらの建物を保存・活用することを目的として「深谷市誠之堂・清風亭条例」を制定し、広く公開している。



移築された誠之堂（右）・清風亭（左）

※詳細は「誠之堂・清風亭」のホームページをご覧ください。

:http://www.city.fukaya.saitama.jp/kanko/kanko/seisido_seifutei/1391497434025.html

④鹿島古墳群（埼玉県指定史跡）

川本地区本田の荒川に沿った台地に、100 基を越す古墳が分布する。終末期の古墳群として知られ、径 10 メートル～20 メートルほどの小規模円墳で構成されるが、方墳も見ついている。胴張型石室を特徴とし、埴輪が出土する古墳は少ない。この古墳のうち川寄りの 56 基について、埼玉県指定史跡として東西 800 メートルにわたり保存整備された。



⑤中宿古代倉庫群跡（埼玉県指定史跡）

中宿遺跡の発掘調査は、平成 3 年の第 1 次調査以降、5 次にわたり実施されている。遺跡は、櫛挽台地の北端に位置し、奈良～平安時代の大規模な建物群 20 棟が発見されている。

これら建物群の基礎部分は、高床式倉庫に特徴的な構造を有することから、古代榛沢郡の正倉に相当する施設と考えられる。正倉とは、税として徴収された稲を収納する公的な倉庫であり、古代の郡単位で設置されている。

第 1 次調査終了後、埼玉県で初めての発見例として、その調査範囲全域が中宿古代倉庫群跡として埼玉県の史跡に指定された。現在は、約 7000 平方メートルの範囲が史跡として保存・活用されている。写真は、発見された建物跡のうち、最も規模の大きい 1 号建物跡と 2 号建物跡について上部構造の復元を行ったもの。



2 号建物（奥） 1 号建物（手前）

⑥畠山重忠墓（埼玉県指定史跡）

武蔵武士畠山重忠は、鎌倉幕府の重臣として知られる。

重忠は、川本地区畠山出身といわれ、畠山館跡に残る大型の五輪塔6基が「畠山重忠墓」として大正13年に埼玉県史跡として指定された。

五輪塔は、凝灰岩製で鎌倉時代の特徴をもち、中でも高さ1.8メートルの中央の五輪塔が畠山重忠の墓といわれる。現在は、覆屋の中に保存されている。



⑦渋沢栄一生地（埼玉県指定旧跡）、旧渋沢邸「中の家」・尾高惇忠生家（深谷市指定史跡）

『旧渋沢邸「中の家」』は、明治28年上棟の養蚕農家住宅で、渋沢栄一の妹夫婦によって建てられた。主屋のほかに、副屋、土蔵、正門、東門が建ち、当時の北武蔵における養蚕農家屋敷の形をよくとどめている。栄一は、多忙の合間も時間をつくり年に数回はこの家に帰郷した。東京飛鳥山の栄一の私邸は、空襲によって焼失したため、この家は現在残る栄一が親しく立ち寄った数少ない場所といえる。

「尾高惇忠生家」は江戸時代後期に建てられたと伝わっている。尾高惇忠は富岡製糸場の初代場長となった人物であり、渋沢栄一の従兄にあたる。教育者として渋沢栄一の思想・学問に大きく影響を与えた。幕末においては、この建物内で渋沢栄一をはじめとする憂国の志士たちによって、倒幕の密議が行われた。



旧渋沢邸「中の家」



尾高惇忠生家

6. 深谷市内所在文化財など件数一覧

(令和2年4月1日現在)

種 別	国 指 定 な ど			埼 玉 県 指 定		深 谷 市 指 定		合 計	
	種 類		件 数	種 類		件 数	種 類		件 数
有 形 文化財	重 要 文化財	建 造 物	2	建 造 物	2	建 造 物	15	19	
		絵 画		絵 画	1	絵 画	22	23	
		彫 刻		彫 刻	2	彫 刻	19	21	
		工 芸 品		工 芸 品	1	工 芸 品	20	21	
		書跡・典籍・古文書		書跡・典籍・古文書	2	書跡・典籍・古文書	35	37	
		考 古 資 料	1	考 古 資 料	1	考 古 資 料	34	36	
		歴 史 資 料		歴 史 資 料	1	歴 史 資 料	12	13	
	小 計		3	小 計	10	小 計	157	170	
	登 録 有 形 文 化 財		13						13
	小 計		13						13
民 俗 文化財	重要有形民俗文化財			重要有形民俗文化財		重要有形民俗文化財	18	18	
	重要無形民俗文化財			重要無形民俗文化財	1	重要無形民俗文化財	25	26	
	小 計		0	小 計	1	小 計	43	44	
記念物	史 跡		1	史 跡	7	史 跡	42	50	
	名 勝			名 勝		名 勝	2	2	
	天 然 記 念 物			天 然 記 念 物		天 然 記 念 物	4	4	
				旧 跡	5			5	
	小 計		1	小 計	12	小 計	48	61	
合 計			17		23		248	288	

その他 ○埼玉県選定重要遺跡 11件

※詳細は「深谷市の歴史と文化財」のホームページをご覧ください。

「深谷市の歴史と文化財」: http://www.city.fukaya.saitama.jp/rekishi_bunkazai/index.html

Ⅳ 図 書 館

1. 施設の概要

			
	深谷市立図書館	深谷市立上柴図書館	深谷市立岡部図書館
所 在 地	深谷市仲町19番3号	深谷市上柴町西4丁目2番地14	深谷市普済寺1626番地3
延 床 面 積	2,290.94㎡	303.41㎡	363.96㎡
竣 工	平成2年11月	平成22年11月	令和元年10月
開 設 年 月	昭和29年3月	平成31年4月	令和元年10月
外 観			
	深谷市立川本図書館	深谷市立花園こども情報交流 図書館	
所 在 地	深谷市菅沼1146番地1	深谷市小前田1463番地2	
延 床 面 積	496.50㎡	498.83㎡	
竣 工	平成3年7月	平成17年3月	
開 設 年 月	平成3年7月	昭和55年6月	

開 館 時 間	深谷・上柴・岡部図書館・・・午前9時～午後7時 川本・花園図書館・・・午前10時～午後7時	
休 館 日	・月曜日（祝休日の場合は開館し、その翌日が休館） ※上柴・岡部図書館を除く。 ・館内整理日（毎月第2金曜日。その日が祝休日又は他の休館日に当たるときは、第3金曜日。特別整理期間を設ける月は除く。）、年末年始（12月29日～1月3日） ・その他特別整理期間	
ホ ー ム ペ ー ジ	http://www.lib.city.fukaya.saitama.jp/	

2. 図書館運営の基本方針

図書館は、生涯学習の場として、市民の知る権利・学習する権利を保障するため、図書・記録・その他必要な資料を収集・整理・保存する。県立図書館や他の公共図書館等とのネットワークを活用し、緊密な相互協力のもとに効果的な奉仕活動を展開する。また、読書活動の支援、情報提供能力を強化することにより、市民の福祉の向上や文化教養の醸成に寄与する。

○令和2年度重点目標

(1) 図書館資料の整備・充実

- ①図書資料、郷土資料及び視聴覚資料の適正な収集・整備・保存並びに郷土資料データベースの作成
- ②各館の特色を生かした資料の収集

(2) 奉仕活動の充実

- ①迅速で正確な貸出処理と返却処理
- ②レファレンスサービスの強化
- ③バリアフリーサービスの推進
- ④ホームページによる各種の情報提供
- ⑤県立図書館、市内公民館・高等教育機関等との相互協力の推進

(3) 読書活動の促進

- ①おはなし会、季節行事、各種講座・講演会及び展示会等の開催
- ②ふかやふれあい必読書50の読書活動推進
- ③学校図書館との連携

(4) 快適な利用環境の提供

- ①利用者の安全を優先した施設の維持管理
- ②施設・設備の改修及びメンテナンス

3. 業務の概要

(1) 資料管理

①図書館の取り扱う資料（図書館資料）

図 書	一 般	一般書、参考図書、郷土資料
	児 童	児童書、絵本、紙芝居
逐次刊行物		新聞、雑誌
視聴覚資料		DVD、CD、ビデオテープ、カセットテープ
バリアフリーサービス資料		デイジー、マルチメディアデイジー、デイジー再生機器 点訳絵本、LLブック

②資料の充実

市販されている資料を選書し、購入する。寄贈本も受け入れる。また、子供向けの図書資料や新聞資料などの充実を図る。

③管理保存

図書館資料は書架に配置して管理保存する。書架は、利用者が自由に資料に接することのできる開架書架とその立入りを禁じる閉架書架に分ける。さらに開架書架は資料の分類に応じてコーナーごとに配置する。

④資料整備

現物資料と所蔵データとの不一致をなくすために、照合調査（蔵書点検）を行う。また、欠本や欠号の調査を行う。汚破損資料の補修も行う。

⑤除籍

図書館の資料収容能力を考慮し、資料価値が低下した資料や保存年限を経過した資料の除籍を行う。除籍資料のうち、再利用できるものはリサイクル本として利用者に提供する。

（２）利用サービス

①館内利用

館内での閲覧については基本的には制限を設けない。ただし、視聴覚資料の館内視聴、２階閲覧席での閲覧及び一部資料の閲覧に際しては、「館内閲覧」の手続きを必要とする。

②館外利用（貸出）

市内在住・在勤・在学のかたへの資料の館外貸出しを行う。広域利用の協定市町の住民等についてはこれに準じる。

③予約・リクエスト

貸出中の本や市内他館所蔵の資料は予約することによって利用することができる。未所蔵の資料については、リクエストを受け付け、購入又は相互貸借により、利用者への提供に努める。

④レファレンス

資料調査の希望者には、資料の紹介に努めてその調査活動の支援を行う。

⑤文献複写

所蔵資料については、著作権法の定める範囲において、実費による複写サービスを行う。

⑥バリアフリーサービス（障害者サービス）

市内在住・在勤・在学する視覚障害等のあるかたに録音資料及びデージー資料、デージー再生機器等の館内・館外貸出しを行う。

⑦図書郵送貸出

図書館への来館利用が困難なかたへは、郵送による貸出しサービスを行う。

⑧インターネット利用

情報化社会に対応して、インターネットに接続できる端末機を設置して利用者に開放する。

⑨資料回送

市内各館間の資料回送を行い、利用者の身近な図書館へ資料を届ける。

⑩あかちゃんタイム

小さいお子様連れのかたにも気兼ねなく図書館を利用できるよう、「あかちゃんタイム」を設定する。

(3) その他

①相互貸借

図書館サービスの充実を期するため、埼玉県図書館協会加盟の県立図書館、他の公共図書館及び大学図書館等との協定に基づき、所蔵資料の相互の貸し借りを行う。

②図書館行事

乳幼児を対象とした「おはなし会」や「映画会」を定期的に行う。一般市民向けには「古典文学講座」やボランティア団体との共催による「大人のためのおはなし会」を開催する。また、保健センターと協力して4か月児健診時の乳児とその保護者に絵本「ふっかちゃんとあそぼ」の読み聞かせと配布を行う。

③ホームページ

ホームページ中のレファレンス検索、読書支援サービスなどを設定し、ホームページ活用の増進を図る。

④図書館ボランティアとの協働

「おはなし会」等においてボランティアに活躍してもらうため、絵本の読み聞かせ講座を開催するなど、ボランティアの育成を行う。

⑤読書会等の支援

市民の同好者の集まりである読書会等に対しては、読書会資料等の配付、読書講演会等行事の通知及び図書館施設の提供等によって、読書活動の援助を行う。

⑥子供読書活動の推進

市内の保育園、幼稚園、小・中学校を対象に読書活動アンケートを実施し、子供の読書活動の支援に取り組む。子供の読書を推進する協議会を開催し、学校等との連携を図る。

4. 分類別蔵書数

(1) 図書資料

(令和2年3月末日現在)

分 類	一般図書	児童図書	郷土資料	合 計	比 率
総 記	7,867	1,553	702	10,122	2.4%
哲学宗教	11,230	841	345	12,416	3.0%
地理歴史	28,844	5,260	5,395	39,499	9.5%
社会科学	40,266	5,256	4,252	49,774	12.0%
自然科学	19,808	9,613	203	29,624	7.1%
工学・家庭	23,427	3,460	651	27,538	6.6%
産 業	10,297	2,554	549	13,400	3.2%
芸術・体育	28,826	4,336	727	33,889	8.2%
語学・言語	9,381	1,531	341	5,853	1.4%
文 学	113,736	35,806	926	150,468	36.3%
絵 本	—	39,855	—	39,855	9.6%
紙 芝 居	—	2,696	—	2,696	0.7%
合計	288,282	112,761	14,091	415,134	100.0%

(2) 視聴覚資料

種 別	C D	ビデオ	D V D	カセットテープ	その他	計
数 量	4,082	2,480	1,790	211	368	8,931

5. 令和元年度利用状況

(1) 利用登録者数

種 別	個 人	郵 送	小 計	団 体	相互貸借	合 計
数 量	41,027	23	41,050	126	143	41,319

(2) 資料別貸出点数

種 別	一般資料	児童図書	郷土資料	視聴覚資料	雑 誌	合 計
個 人	266,121	237,289	2,686	17,242	31,349	554,687
バリアフリー サービス	163	1	6	1	0	171
団体・相互	2,886	2,343	76	18	55	5,378
計	269,170	239,633	2,768	17,261	31,404	560,236

(3) 視聴覚資料貸出点数内訳

種 別	C D	ビデオ	D V D	カセットテープ	その他	合 計
貸出点数	6,176	921	10,084	27	53	17,261

V 社会体育

1. 社会体育計画の概要

高齢化や少子化、核家族化など著しく変貌する社会環境の中で、市民の健康・体力づくりやスポーツ・レクリエーション活動に対する意欲や関心が高まっている今日、スポーツ・レクリエーション活動の果たす役割は重要であり、市民の健康増進を一層高めるために、生涯スポーツを推進することがより求められている。

そのため、本市のスポーツ・レクリエーション活動の拠点となる深谷市総合体育館（深谷ビッグタートル）や仙元山公園をはじめとする屋外運動施設の利用促進と、小中学校の学校体育施設など、総合的により充実した活用を図っていくことが必要である。

また、多くの市民があらゆる機会をとらえ自発的にスポーツ・レクリエーション活動を実践できるように、スポーツ推進委員など社会体育関係指導者の育成・充実に図り、地域のスポーツ・レクリエーション活動の積極的な推進を図っていくことが重要となっている。

市民一人ひとりの心身の健全な発達と、明るく豊かで活力に満ちた生活を実現するために健康・体力づくりの奨励や、グループ・サークルなどの自主的活動の促進など社会体育の推進に努めていくものである。

また、平成26年度から開始した市民協働事業提案制度により、市と市民の協働による「深谷市の新たなスポーツ振興」に向け事業を進めている。

2. 重点施策

スポーツ・レクリエーションの推進

（1）スポーツ・レクリエーションに親しめる環境整備

◆スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実

身近な場でスポーツ・レクリエーションに親しめる環境づくりを推進するため、スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実と利用方法の見直しを図る。

◆指導者の養成

地域におけるスポーツ・レクリエーションの指導者を育てるため、養成講座等を実施し、資質の向上と育成に努める。また、スポーツ推進委員と連携し、各種大会や教室などへ指導者・講師を派遣する。



（2）スポーツ・レクリエーションを通じた健康・ふれあいづくりの推進

◆スポーツ推進委員との連携の強化

地域住民へのスポーツの推進の役割を担うスポーツ推進委員との連携を強化し、スポーツ・レクリエーション活動の充実に図る。

◆市民の健康づくりとふれあいの機会の創出

健康促進のため、市民が安全にウォーキングできるようにウォーキングマップを作成し、関連イベントなどを開催することで、ふれあいの場を設ける。また、みんなのふっかちゃん体操を周知し市民の健康増進を働きかける。

(3) スポーツ・レクリエーションによるまちの活性化

◆スポーツ・レクリエーション活動への参加機会の充実

スポーツ・レクリエーション活動へ積極的に参加する機会の充実を図るため、ふかやシティハーフマラソンなどの大規模なイベントを開催するほか、各種教室を実施。さらに、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、小学生がスポーツをする環境づくりを推進するため、指導者を派遣するアスリートクラブ事業や、スポーツを始めるきっかけづくりの場として、色々なスポーツを体験できるイベント「ふっかちゃんジュニアスポーツフェスタ」を開催する。

◆スポーツ・レクリエーション団体の活動支援

体育協会、レクリエーション協会、スポーツ少年団など、地域において住民が運営するスポーツ・レクリエーション団体の活動を支援する。

3. 令和2年度社会体育関係事業

主 な ス ポ ー ツ ・ レクリエーション教室	弓道教室、登山教室、ソフトテニス教室、卓球教室、テニス教室、太極拳教室、少林寺拳法教室、剣道教室、ソフトボール教室、スキー教室、ランニング教室、ソフトバレーボール教室、合気道教室、グラウンド・ゴルフ教室、ボールルームダンス教室、3B体操教室、ペタンク教室、レクリエーション指導者講習会、ふっかちゃんジュニアスポーツフェスタ、深谷アスリート教室（バレーボール・陸上・ラグビー・ソフトテニス・ミニバスケットボール・バスケットボール・卓球）
主 な ス ポ ー ツ ・ レクリエーション大会	深谷ラグビーフェスティバル、市民卓球大会、市民サッカー大会、市民バレーボール大会、市民ゴルフ大会、市民ソフトボール大会、市民クライミング大会、市民テニス大会、市民剣道大会、市民柔道大会、市民野球大会、市民バドミントン大会、市民水泳大会、市民弓道大会、市民少林寺拳法大会、市民太極拳大会、市民ソフトテニス大会、市民ソフトバレーボール大会、市民バスケットボール大会、市民ラグビーフットボール大会、市民スキー大会、市民空手道大会、市民スポーツウエルネス吹矢大会、市民ペタンク大会、室内ペタンク大会、市民グラウンド・ゴルフ大会、市民マラソン大会、歩け歩け大会、ボールルームダンス大会、市民フォークダンス大会、レクリエーションフェア、東日本実業団対抗駅伝競走大会、日本スリーデーマーチ、ふっかちゃんわくわく市民ウォーキング、ふかやシティハーフマラソン



4. 社会体育施設の概要

(1) 深谷市総合体育館（深谷ビッグタートル）



① 施設の概要

名 称 深谷市総合体育館（深谷ビッグタートル）
 電 話 ・ F A X （電話）048-572-3000 （FAX）048-572-3302
 所 在 地 深谷市上野台 2568 番地
 開 館 平成 5 年 11 月 1 日
 敷 地 面 積 20,158 m²
 延 床 面 積 12,731 m²
 施 設 規 模



- メインアリーナ：2,627.1 m²（63m×41.7m）
～バレーボール 3 面・バスケットボール 3 面・バドミントン 12 面～
- サブアリーナ：770 m²（35m×22m）
～バレーボール 1 面・バスケットボール 1 面・バドミントン 3 面～
- 武道場：830 m²（30m×18m）
～柔道場 353 m²・剣道場 306 m²・弓道場 210 m²～
- トレーニング室：416.5 m²
- 研修会議室：156 m²
- ランニングコース：1 周約 240m・幅約 2 m
- 卓球コーナー：93m²（卓球台 4 台）
- その他（更衣室・放送室・控室・記者室・ラウンジなど）

② 利用案内

休 館 日	年末年始（12月29日～1月3日）※ただし、臨時休館あり
開 館 時 間	9：00～22：00（日曜日は9：00～21：00）
受 付 時 間	8：30～20：00（ただし、日曜日は8：30～19：00）
利 用 許 可	・全面専用利用申請の場合、利用日の6ヶ月前から7日前まで ・個人利用は、当日利用券を購入（利用状況により個人利用できない場合あり）

(2) その他の社会体育施設一覧

施設名	所在地	施設の概要
深谷市民体育館	本住町 17-2	アリーナ 1,116 ㎡
深谷生涯学習センター体育室	仲町 20-2	アリーナ 720.09 ㎡ (バレーボール 2 面・ミニバス 2 面・ バドミントン 3 面)
明戸生涯学習センター体育室	蓮沼 258	アリーナ 901.7 ㎡ (バレーボール 2 面・ミニバス 2 面・ バドミントン 3 面)
上柴生涯学習センター体育室	上柴町西 4-2-14	アリーナ 885.79 ㎡ (バレーボール 2 面・ミニバス 2 面・ バドミントン 4 面)
豊里公民館体育室	新戒 639-1	アリーナ 728.31 ㎡ (バレーボール 2 面・ミニバス 2 面・ バドミントン 3 面)
南公民館体育室	宿根 645-1	アリーナ 661.2 ㎡ (バレーボール 2 面・バスケットボール 1 面・ バドミントン 2 面)
大寄公民館体育室	起会 84-1	アリーナ 672.18 ㎡ (バレーボール 1 面・バスケットボール 1 面・ バドミントン 3 面)
藤沢生涯学習センター体育室	人見 1967-1	アリーナ 797.06 ㎡ (バレーボール 2 面・バスケットボール 1 面・ バドミントン 4 面・ミニバス 2 面)
幡羅生涯学習センター体育室	東方 1370	アリーナ 875 ㎡ (バレーボール 2 面・バスケットボール 1 面・ バドミントン 3 面)
花園生涯学習センター体育室	小前田 2345-1	アリーナ 767 ㎡ (バレーボール 2 面・バドミントン 4 面・ ミニバス 2 面)
岡部生涯学習センター体育室	普済寺 1626-3	アリーナ 764 ㎡ (バレーボール 2 面・バスケットボール 1 面・ バドミントン 3 面)
渋沢栄一記念館・八基公民館多目的室	下手計 1204	アリーナ 590.91 ㎡ (バレーボール 1 面・バスケットボール 1 面・ バドミントン 3 面)
仙元山公園	上野台 2565	多目的広場(南) 8,443 ㎡(北) 14,000 ㎡ 野球場(両翼 92m・センター 105m) 8,150 ㎡ 人工芝テニスコート 6 面 クレーテニスコート 4 面
仙元山公園陸上競技場	上野台 2569	フィールド：トラック 1 周 400m×8 コース (準天候型舗装) インフィールド：天然芝グラウンド 走り幅跳び・走り高跳び・やり投げ・サッカー等 管理棟：2 階建(会議室・トイレ・更衣室他)
東公園多目的広場	幡羅町 1-14-1	敷地面積 20,905 ㎡ 球場面積 10,600 ㎡(野球場)
上柴中央公園野球場	上柴町西 4-1-1	敷地面積 28,418 ㎡ 球場面積 10,040 ㎡(両翼 90m・センター 102m)
利根川緑地公園(豊里グラウンド)	深谷市中瀬地内 (利根川河川敷)	多目的広場面積 17,347 ㎡ (ソフトボール場 2 面・サッカー場 1 面)
利根川緑地公園(高島グラウンド)	深谷市高島地内 (利根川河川敷)	多目的広場面積 11,627 ㎡ (ソフトボール 1 面・サッカー場 1 面)

施設名	所在地	施設の概要
利根川緑地公園(中瀬ソフトボール場)	深谷市中瀬地内 (利根川河川敷)	多目的広場面積 25,728 m ² (ソフトボール場 4 面)
柴崎公園多目的広場	上柴町東 2-24-1	敷地面積 15,755 m ² 広場面積 6,890 m ² (ソフトボール 1 面)
東方公園多目的広場	東方町 2-23	敷地面積 16,374 m ² 広場面積 7,360 m ² (ソフトボール 1 面)
明戸農村公園多目的広場	上増田 1055-2	敷地面積 19,670 m ² 広場面積 8,325 m ² (野球場 1 面・右翼 76m・左翼 90m)
幡羅生涯学習センター多目的広場	東方 1370	広場面積 2,272 m ²
折之口ふれあい公園多目的広場	折之口 149-1	敷地面積 16,029 m ² ソフトボール 1 面 5,024 m ²
北部運動公園多目的広場	起会 162-1	敷地面積 9500 m ²
北部運動公園野球場	起会 162-1	敷地面積 35,592 m ² 両翼 90m・センター105m 球場面積 10,660 m ²
陸上競技場夜間照明施設	上野台 2569	陸上競技 (サッカー・ラグビー 1 面) 照明面積 10,000 m ² 平均 413LX・最大 550LX・最低 200LX
仙元山野球場夜間照明施設	人見 1134	野球場 1 面 8,150 m ² 平均 263LX・内野 639LX/外野 316LX
仙元山テニスコート夜間照明施設	上野台 2571	テニスコート 3 面 平均 748LX
上柴中央公園夜間照明施設	上柴町西 4-1-1	野球場 1 面 10,040 m ² 平均 276LX・内野 700LX/外野 300LX
深谷小学校屋外運動場夜間照明施設	仲町 19-1	ソフトボール 2 面 照明面積 9,000 m ² A = 40 灯・B = 32 灯・平均 238LX
八基小学校屋外運動場夜間照明施設	下手計 1300	ソフトボール 1 面 照明面積 5,672 m ² 24 灯・102LX
深谷西小学校屋外運動場夜間照明施設	栄町 14-18	ソフトボール 1 面 照明面積 4,500 m ² 26 灯・160LX
東方公園夜間照明施設	東方町 2-23	ソフトボール 1 面 7,360 m ² 全照明平均 232LX・内野 370LX/外野 210LX 半照明平均 123LX
明戸農村公園夜間照明施設	上増田 1055-2	野球場 1 面 8,325 m ² 全照明 = 69 灯・内野 500LX/外野 206LX 半照明 = 32 灯・内野 394LX/外野 103LX
北部運動公園夜間照明施設	起会 162-1	野球場 1 面 10,660 m ² 全照明 = 96 灯・内野 650LX/外野 310LX
常盤公園テニスコート	常盤町 58-2	敷地面積 1,970 m ² グリーンドラストコート 3 面

施設名	所在地	施設の概要
幡羅生涯学習センターテニスコート	東方 1370	ハードコート2面 1,666 m ²
折之口ふれあい公園テニスコート	折之口 149-1	敷地面積 16,029 m ² 人工芝コート2面 1,400 m ²
仙元荘ゲートボール場	上野台 2547	敷地面積 3,300 m ² ゲートボール4面 1,200 m ²
柴崎公園ゲートボール場	上柴町東 2-24-1	敷地面積 15,755 m ² ゲートボール2面 1,050 m ² (42m×25m)
北部運動公園ゲートボール場	起会 162-1	敷地面積 27,868 m ² ゲートボール2面 600 m ² (40m×24m)
折之口ふれあい公園ゲートボール場	折之口 149-1	敷地面積 16,029 m ² ゲートボール2面 1,040 m ²
すぱーく深谷	沼尻 484-1	敷地面積 4,453 m ² 建物面積 ・屋内ゲートボール場床面積 1,100.21 m ² ・クラブハウス床面積 79.86 m ² 屋内ゲートボール場2面 (全天候型・照明施設)
すぱーく岡部	後榛沢 972-1	敷地面積 10,832.80 m ² 建物面積 ・屋内ゲートボール場床面積 1,100.21 m ² ・クラブハウス床面積 79.86 m ² 屋内ゲートボール場2面 (照明施設)
深谷グリーンパーク アクアパラダイス・パティオ	榎合 763	敷地面積 53,817 m ² 波のプール・渚プール・流れるプール こどもプール・スピニングスライダー (2基) ウエットサウナ・ドライサウナ ジャグジー・競泳用 25m プール
岡部 B & G 海洋センター	山河 1300	敷地面積 4753 m ² 建物面積 体育館 1,103 m ² 休止 アリーナ 726 m ² (バレーボール2面・バスケットボール2面・ バドミントン3面) ミーティングルーム 63 m ² プール 738 m ² (25m プール、幼児) 休止
中瀬グラウンド	中瀬 726-1	多目的広場 敷地面積 5,000 m ²
岡部中央グラウンド	山河 1-1	敷地面積 34,862 m ² (ナイター設備2基) 野球場2面、ソフトボール4面、サッカー1面
岡部東グラウンド	普済寺 63-1	敷地面積 12,580 m ² 野球場1面、ソフトボール1面
岡部中央公園	山河 1318	敷地面積 10,575 m ² 人工芝テニスコート2面 1,510.30 m ²
川本天神グラウンド	菅沼 1055	敷地面積 31,276 m ² 人工芝テニスコート2面、野球場 多目的グラウンド (サッカー等)

施設名	所在地	施設の概要
白草台運動公園	白草台 1565-3	敷地面積 48,583 m ² 野球場、テニスコート（ハードコート）3面
川本グラウンド・ゴルフ場	本田 501 番地先	敷地面積 40,000 m ² 芝コート8面、土コート
上本田グラウンド	本田 4892-1	敷地面積 18,038 m ² 野球場 1面
植松グラウンド	本田 50 番地先	敷地面積 20,000 m ²
川本農業者トレーニングセンター	畠山 1577	敷地面積 3,976.00 m ² （バスケットボール2面・バレーボール2面・ バドミントン3面） アリーナ 952.00 m ²
花園総合運動公園	小前田 2299-1	敷地面積 46,768 m ² 多目的広場 12,800 m ² （300mトラック、サッカー場、ソフトボール2面） 野球場 9,900 m ² テニスコート 1,592 m ² （人工芝ナイター設備あり） ゲートボール場 582 m ² 休止
花園農業者トレーニングセンター	小前田 2299	アリーナ 936 m ² バスケットボール2面、バレーボール2面 バドミントン3面
花園水辺公園	小前田 396-11 （荒川河川敷）	全体面積 27,656 m ² 多目的ゾーン 9,700 m ²

◆各施設の予約は「深谷市公共施設予約システム」からできます。（一部施設は除く）

深谷市公共施設予約システム：<http://www.city.fukaya.saitama.jp/shisetsu/yoyaku/1391748906315.html>



令和２年度教育要覧 深谷市の教育

発 行 深谷市教育委員会

〒３６６－８５０１

埼玉県深谷市仲町１１番１号

ＴＥＬ （０４８）５７４－５８１１（代）

ＦＡＸ （０４８）５７４－１７４４

Ｕ Ｒ Ｌ <http://www.city.fukaya.saitama.jp/>

Ｅ－ｍａｉｌ kyouiku@city.fukaya.saitama.jp（教育委員会教育総務課）

